

3 款

民 生 費

- 1 項 社会福祉費
- 2 項 児童福祉費
- 3 項 生活保護費
- 4 項 医療福祉費
- 5 項 災害救助費

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
3款 民生費	決算額 9, 211, 072, 188円
1項 社会福祉費	決算額 3, 779, 902, 964円
1目 社会福祉総務費	決算額 298, 051, 967円

1 社会福祉総務事務費

福祉課・児童課・長寿介護課で使用してきた福祉総合システム（ささえ）の使用終了に伴い、現行の福祉諸施策及び今後の制度改正への円滑な対応、業務の省力化及び費用負担の軽減を目的として、平成22年度中に新福祉総合システムの導入を行った。

(1) 島田市福祉総合システム

ア システム構築業務委託

委託先：株式会社アイネス名古屋支社

委託料：22,050千円

委託期間：平成22年7月2日 から 平成23年3月31日まで

イ システム機器賃貸借契約

契約先：芙蓉総合リース株式会社

賃貸借料：39,665千円（月額 661,080円）

賃貸借期間：平成22年9月1日 から 平成27年8月31日まで（60ヶ月）

2 民生委員・児童委員活動事業

社会福祉に対するニーズが多様化・複雑化する中で、住民の立場に立ったきめ細かい相談や支援活動のほか、地域福祉サービス推進の担い手として幅広い活動を行い地域福祉の向上が図られた。

(1) 委員数

189人（うち主任児童委員 16人） 定員189人

(2) 活動状況

区 分	平成22年度	平成21年度
活動延べ日数	30,121日	30,003日
訪問延べ回数	29,624回	28,947回

(3) 活動内容内訳

(単位：件)

活 動 内 容		平成22年度	平成21年度
内容別相談支援件数		4,979	5,433
内 訳	在宅福祉	755	792
	介護保険	279	280
	健康・保健医療	438	408
	子育て・母子保健	240	265
	子どもの地域生活	234	230
	子どもの教育・学校生活	334	355
	生活費	322	533
	年金・保険	29	48
	仕事	73	72
	家族関係	301	368
	住居	114	158
	生活環境	210	324

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

	日常的な支援	721	836
	その他	929	764
分野別相談件数		4,979	5,433
内 訳	高齢者に関すること	2,619	2,909
	障害者に関すること	540	595
	子どもに関すること	973	1,010
	その他	847	919

3 社会福祉活動支援事業

(1) 島田市社会福祉協議会補助金

社会福祉法人島田市社会福祉協議会に対し、運営事業費を補助した。

ア 補助金額

区 分	金 額(円)
平成22年度	77,197,525
平成21年度	73,811,165

イ 平成22年度補助対象事業

区 分	主要事業の状況
職員設置費 (人件費)	職員 (14人分)・・・給与、法定福利費、退職金積立 嘱託職員(2人分)・・・給与、法定福利費
法人運営費 (事務費)	印刷製本費、水道光熱費、車両費、通信運搬費など
企画事業	社会福祉大会 (H23. 2. 5 プラザおおるりホール、598人参加) 無縁仏供養祭 (H22. 10. 13島田市斎場、島田市仏教会が協力)
地域福祉事業	ふれあい広場 (H22. 9. 26市役所駐車場、25団体・約1,000人参加) 地域福祉活動計画策定 (策定委員会及び地区福祉懇談会、福祉団体・ボランティア団体等懇談会開催、市民福祉意識調査実施)
相談援助事業	福祉総合相談事業 (相談件数456件) 旅費欠者援護事業 (乗車券支給127人)
ボランティアセンター活動事業	ボランティア活動室管理 (利用件数290件、利用者数2,596人)

4 災害時要援護者対策事業

災害時要援護者の支援体制づくりを進めるための台帳を整備し更新作業を実施した。

(単位：円)

事 業 の 概 要	金 額	備 考
地図管理システム保守業務	84,000	委託料 (株)ゼンリン
災害時要援護者台帳複製使用料	58,149	使用料 (株)ゼンリン

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明											
5 住宅手当緊急特別措置事業 就労意欲がある離職者のうち、住居を喪失している又は住居を喪失するおそれがある者に対して、住宅手当を支給した。	<table border="1" data-bbox="196 309 892 450"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給決定者数</td> <td>56人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>支給金額</td> <td>9,391,025円</td> <td>2,927,900円</td> </tr> </tbody> </table> ※平成21年度は10月から事業を実施		区 分	平成22年度	平成21年度	支給決定者数	56人	29人	支給金額	9,391,025円	2,927,900円	
区 分	平成22年度	平成21年度										
支給決定者数	56人	29人										
支給金額	9,391,025円	2,927,900円										
6 地域福祉計画策定事業【平成22年度新規事業】 地域住民、行政、社会福祉協議会がそれぞれの役割分担のもとに、今後の地域福祉を積極的に推進していく指針として、島田市地域福祉計画を策定した。策定にあたっては、島田市社会福祉協議会と連携を取り、計画策定委員会（庁外組織）や計画策定検討委員会及び作業部会（庁内組織）を設置するとともに、住民参加による計画策定の観点から、住民からの意見聴取の機会を設けた。 委員報償費：211,000円 印刷製本費：341,730円（冊子：371部、概要版：2,991部、社会福祉協議会との案分により負担） 主な策定経過	<table border="1" data-bbox="188 835 1272 1261"> <thead> <tr> <th>開催(実施)日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年5月13日～ 平成23年2月28日</td> <td>計画策定委員会（4回）</td> </tr> <tr> <td>平成22年6月3日～ 平成22年6月25日</td> <td>地区福祉懇談会（中学校区単位、市内7箇所）</td> </tr> <tr> <td>平成22年8月31日～ 平成22年12月16日</td> <td>福祉団体・ボランティア団体等懇談会（2回）</td> </tr> <tr> <td>平成23年2月1日～ 平成23年3月2日</td> <td>パブリックコメントの実施</td> </tr> </tbody> </table>		開催(実施)日	内 容	平成22年5月13日～ 平成23年2月28日	計画策定委員会（4回）	平成22年6月3日～ 平成22年6月25日	地区福祉懇談会（中学校区単位、市内7箇所）	平成22年8月31日～ 平成22年12月16日	福祉団体・ボランティア団体等懇談会（2回）	平成23年2月1日～ 平成23年3月2日	パブリックコメントの実施
開催(実施)日	内 容											
平成22年5月13日～ 平成23年2月28日	計画策定委員会（4回）											
平成22年6月3日～ 平成22年6月25日	地区福祉懇談会（中学校区単位、市内7箇所）											
平成22年8月31日～ 平成22年12月16日	福祉団体・ボランティア団体等懇談会（2回）											
平成23年2月1日～ 平成23年3月2日	パブリックコメントの実施											
7 緊急雇用創出事業【平成22年度新規事業】 (1) 福祉システムデータ入力事務補助事業 内 容：新福祉総合システム導入に係るデータ移行作業 雇用期間：平成22年9月1日から平成23年3月31日まで 雇用人数：6人	8 重点分野雇用創出事業【平成22年度新規事業】 (1) 災害時要援護者避難支援計画策定に係る事務補助 内 容：災害時要援護者台帳の更新に係るデータ入力作業 雇用期間：平成22年11月1日から平成23年3月31日まで 雇用人数：1人											
2目 障害福祉サービス費	決算額	965,257,987円										
1 委員報酬	(1) 障害程度区分認定等審査会委員 <table border="1" data-bbox="188 1865 810 2009"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>審査会開催(回)</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>11</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>13</td> <td>1,120,000</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	審査会開催(回)	金額(円)	平成22年度	11	1,000,000	平成21年度	13	1,120,000	
区 分	審査会開催(回)	金額(円)										
平成22年度	11	1,000,000										
平成21年度	13	1,120,000										

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

2 障害福祉事務費

(1) 身体障害者手帳交付状況

身体障害者手帳を交付することにより、各種の福祉サービスの支給等を可能とした。

交付者数

(単位：人)

区 分	視覚 障害	聴覚 障害	音声 言語	肢体 不自由	内部 障害	計
平成22年度	225	257	28	1,760	1,020	3,290
平成21年度	232	291	30	1,834	1,070	3,457

(2) 療育手帳交付状況

療育手帳を交付することにより、各種の福祉サービスの支給等を可能とした。

交付者数

(単位：人)

区 分	障害程度		計
	A	B	
平成22年度	258	381	639
平成21年度	268	376	644

(3) 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）交付状況

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）受給者証を交付することにより、各種の援助措置の受け入れを可能とした。県の制度に基づき事務処理を行った。

交付者数

(単位：人)

区 分	精神障害者保健福祉手帳				自立支援医療 (精神通院)
	1級	2級	3級	計	
平成22年度	50	242	99	391	723
平成21年度	43	219	92	354	665

(4) 精神保健福祉講座

市民を対象に精神保健の啓発を図るための講座を開催した。

区 分	回数(回)	延べ受講者数(人)
平成22年度	4	36
平成21年度	4	28

(5) 在宅重症心身障害者等利用施設医療支援事業補助

日常的に医療ケアが必要な重症心身障害児（者）が通所する事業者に対し、医療ケアを行う看護師の配置費用の補助を行った。

補助率：1/2 （補助上限 90万円）

区 分	対象施設	延べ利用日数(日)	補助額(円)
平成22年度	ケアセンターかたくりの花	127	900,000
平成21年度	ケアセンターかたくりの花	159	900,000

3 自立支援介護給付事業

(1) 訪問介護給付費

ア 居宅介護事業

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
	在宅の障害のある者にホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等を行った。		
区 分	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)
平成22年度	104	10,488時間30分	31,941,995
平成21年度	100	10,305時間00分	31,576,711
イ 行動援護事業			
知的又は精神障害により行動上著しい困難を有する者にヘルパーを派遣し、外出時における移動中の介護を行った。			
区 分	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)
平成22年度	2	412時間00分	1,349,720
平成21年度	2	526時間30分	1,736,600
ウ 短期入所事業			
障害のある者を介護している家族が病気等の理由により居宅における介護ができない場合に、一時的に施設において、介護を実施した。			
区 分	実利用人数(人)	実利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	61	822	6,513,007
平成21年度	43	570	5,659,338
(2) 日中活動介護給付費			
ア 生活介護事業			
通所による文化的活動、機能訓練等のサービスを実施した。			
区 分	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	給付費(円)
平成22年度	109	25,826	254,661,933
平成21年度	78	19,910	188,776,415
イ 児童デイサービス事業			
通所により日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練などのサービスを実施した。			
区 分	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	給付費(円)
平成22年度	96	6,130	27,239,145
平成21年度	79	5,794	23,648,271
(3) 居住介護給付費			
ア 共同生活介護事業(ケアホーム)			
地域において自立した生活を営もうとする障害のある人に、居住の場を提供し必要な介護、支援を行った。			
区 分	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	23	9,295	38,208,616
平成21年度	16	5,423	17,479,948
イ 施設入所支援事業			
生活介護等の日中活動の対象者に対し、夜間の支援を実施した。			
区 分	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	75	24,430	92,194,582
平成21年度	58	20,913	64,581,444

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
4 自立支援訓練等給付事業			
(1) 日中活動訓練等給付費			
ア 自立訓練事業	自立した社会生活ができるよう、身体機能又は生活能力の向上のための訓練を実施した。		
区 分	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	給付費(円)
平成22年度	機能訓練 2	149	952,076
	生活訓練 9	822	5,749,220
平成21年度	機能訓練 3	806	4,058,335
	生活訓練 16	1,613	11,029,312
イ 就労移行支援事業	就労が見込まれる障害のある人に対し、必要な訓練、指導等を実施した。		
区 分	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	33	6,105	37,015,766
平成21年度	29	4,178	33,036,183
ウ 就労継続支援事業	障害のある人に就労の機会を提供するとともに、必要な指導等を実施した。		
区 分	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	A型 31	4,913	30,022,717
	B型 128	25,702	152,888,763
平成21年度	A型 21	3,787	22,899,536
	B型 110	24,678	113,235,081
(2) 居住訓練等給付費			
ア 共同生活援助事業(グループホーム)	地域において自立した生活を営もうとする障害のある人に、居住の場を提供し、必要な支援等を行った。		
区 分	実利用人数(人)	延べ利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	9	3,709	9,071,785
平成21年度	15	4,993	10,879,505
5 自立支援補装具給付費			
(1) 補装具給付費	障害のある人の更生のため、補装具の給付を行った。		
区 分	件数(件)	金額(円)	
平成22年度	129	10,927,817	
平成21年度	76	7,001,544	
6 自立支援医療費			
(1) 更生医療支給費	身体に障害のある人の更生に必要な医療の給付を行った。		
区 分	件数(件)	金額(円)	
平成22年度	319	14,779,204	
平成21年度	295	6,448,397	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
7 自立支援地域生活支援事業					
(1) 相談支援事業	障害のある人、その保護者からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助を行い、支援体制を充実させていく事業であり、NPO法人等に委託し、実施した。				
	区 分	件 数(件)	金 額(円)	委 託 先	
	平成22年度	1,922	7,388,000	NPO法人ころこ	
	平成21年度	735	7,350,000	NPO法人ころこ	
(2) コミュニケーション支援事業	手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業				
	聴覚に障害のある人に手話通訳者を派遣した。				
	区 分	登録者数(人)	派遣申込件数(件)	延べ派遣人数(人)	報 酬(円)
	平成22年度	10	146	170	621,703
	平成21年度	10	133	162	623,692
	中途失聴者・難聴者に要約筆記奉仕員を派遣した。				
	区 分	登録者数(人)	派遣申込件数(件)	延べ派遣人数(人)	報 酬(円)
	平成22年度	10	4	11	45,222
	平成21年度	10	2	4	8,287
(3) 日常生活用具給付事業	障害のある人の更生のため、日常生活用具の給付を行った。				
	区 分	件数(件)	金額(円)		
	平成22年度	2,285	21,225,884		
	平成21年度	2,104	20,672,154		
(4) 移動介護事業	在宅の障害のある人にホームヘルパーを派遣し、外出支援を行った。				
	区 分	実利用人数(人)	延べ利用時間	給付費(円)	
	平成22年度	156	10,064時間30分	20,350,177	
	平成21年度	143	10,111時間30分	20,316,857	
(5) 地域活動支援センター事業	障害のある人の地域生活を支援するため、利用者に対して創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流促進事業などを実施した。				
	区 分	延べ人数(人)	金 額(円)	委 託 先	
	平成22年度	7,363	9,421,000	NPO法人ころこ	
		2,424	8,151,000	NPO法人うたしあ	
		2,950	8,151,000	社会福祉法人牧ノ原やまばと学園 (ワークセンターふれあい)	
	平成21年度	9,855	8,151,000	NPO法人ころこ	
		2,628	8,151,000	NPO法人うたしあ	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

	2,579	8,151,000	社会福祉法人牧ノ原やまばと学園（ワークセンターふれあい）
--	-------	-----------	------------------------------

(6) 訪問入浴サービス事業

ア 訪問入浴

入浴介助が必要な在宅の重度の障害のある人をホームヘルパーが訪問する訪問入浴を実施した。

区 分	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	金額(円)
平成22年度	7	493	6,162,500
平成21年度	7	470	5,875,000

(7) 日中一時支援事業

障害のある人（児）を介護している家族が病気等の理由により居宅における介護ができない場合に、一時的に施設において介護を実施した。

区 分	延べ利用人数(人)	実利用日数(日)	給付費(円)
平成22年度	51	324.75	2,029,251
平成21年度	40	313.75	1,978,206

(8) 社会参加促進事業

ア 重度障害者等移動支援事業

既存の交通機関を利用することが困難な要援護者（車椅子利用者等）の社会参加を促進するため、島田市社会福祉協議会へ委託し、交通手段のひとつとしてリフト付きワゴン車を貸し出した。

区 分	運行回数(回)	委託料(円)
平成22年度	392	566,709
平成21年度	431	561,584

イ 手話通訳者養成等事業

手話教室は、厚生労働省の定めたカリキュラムを実施し、手話奉仕員を養成することを目的とし、開催した。

区 分	開催回数(回)	受講者数(人)	委 託 先	委託料(円)
平成22年度	23	21	ロバの会	600,000
平成21年度	28	10	ロバの会	600,000

点字講習会は、市民に点字を身近に感じてもらうことを目的とし、開催した。

区 分	開催回数(回)	受講者数(人)	委 託 先	委託料(円)
平成22年度	4	7	点字の会	80,000
平成21年度	0	0	—	0

初級要約筆記講座は、市民に要約筆記を身近に感じてもらうことを目的とし、開催した。

区 分	開催回数(回)	受講者数(人)	委 託 先	委託料(円)
平成22年度	1	12	うさぎ	53,000
平成21年度	1	9	うさぎ	53,000

ウ 自動車改造費助成事業

身体に障害のある人の就業その他社会参加を促進し、自立を支援するため、障害のある人自らが運転するため

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明										
	の自動車の改造に要した経費を助成した。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件数(件)</th> <th>助成額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>6</td> <td>518,500</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>4</td> <td>395,000</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	件数(件)	助成額(円)	平成22年度	6	518,500	平成21年度	4	395,000	
区 分	件数(件)	助成額(円)									
平成22年度	6	518,500									
平成21年度	4	395,000									
8 施設訓練等支援費											
(1) 施設訓練等支援費（経過措置）											
ア 施設入所											
	身体に障害のある人や知的障害のある人が施設へ入所することにより、更生に必要な訓練、治療、養護及び雇用に必要な訓練を行った。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実利用人数(人)</th> <th>給付費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>知的 18 身障 5</td> <td>29,866,343</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>知的 33 身障 19</td> <td>100,640,777</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	実利用人数(人)	給付費(円)	平成22年度	知的 18 身障 5	29,866,343	平成21年度	知的 33 身障 19	100,640,777	
区 分	実利用人数(人)	給付費(円)									
平成22年度	知的 18 身障 5	29,866,343									
平成21年度	知的 33 身障 19	100,640,777									
イ 施設通所											
	身体に障害のある人や知的障害のある人が施設へ通所することにより、更生に必要な訓練及び雇用に必要な訓練を行った。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実利用人数(人)</th> <th>給付費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>20</td> <td>41,233,010</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>28</td> <td>46,702,578</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	実利用人数(人)	給付費(円)	平成22年度	20	41,233,010	平成21年度	28	46,702,578	
区 分	実利用人数(人)	給付費(円)									
平成22年度	20	41,233,010									
平成21年度	28	46,702,578									
ウ 通勤寮											
	施設に通所するため、知的障害のある人が居住の場を確保するとともに、日常生活に必要な支援を行った。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実利用人数(人)</th> <th>給付費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>1</td> <td>119,540</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>1</td> <td>1,209,398</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	実利用人数(人)	給付費(円)	平成22年度	1	119,540	平成21年度	1	1,209,398	
区 分	実利用人数(人)	給付費(円)									
平成22年度	1	119,540									
平成21年度	1	1,209,398									
9 特別障害者手当等支給事業											
(1) 特別障害者手当等支給事業											
	経済的な援助のため、著しく重度の障害があり常時介護が必要とされる人（児）に対して、手当を支給した。										
	特別障害者手当給付状況										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>給付人数(人)</th> <th>給付額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>112</td> <td>32,626,960</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>119</td> <td>33,737,440</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	給付人数(人)	給付額(円)	平成22年度	112	32,626,960	平成21年度	119	33,737,440	
区 分	給付人数(人)	給付額(円)									
平成22年度	112	32,626,960									
平成21年度	119	33,737,440									
	障害児福祉手当給付状況										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>給付人数(人)</th> <th>給付額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>71</td> <td>11,374,580</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>70</td> <td>11,374,580</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	給付人数(人)	給付額(円)	平成22年度	71	11,374,580	平成21年度	70	11,374,580	
区 分	給付人数(人)	給付額(円)									
平成22年度	71	11,374,580									
平成21年度	70	11,374,580									

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
福祉手当（経過措置）給付状況				
区 分	給付人数(人)	給付額(円)		
平成22年度	2	345,120		
平成21年度	2	345,120		
10 人にやさしいまちづくり推進事業				
(1) 重度身体障害者住宅改造費補助金				
在宅の重度心身障害者又はその保護者が当該障害者の日常生活の利便を図るために住宅設備を改造した経費の一部を助成した。				
区 分	件数(件)	補助金額(円)	財源内訳(円)	
平成22年度	2	1,258,000	県支出金 838,000	一般財源 420,000
平成21年度	2	399,000	県支出金 266,000	一般財源 113,000
11 移動支援事業				
(1) ガイドヘルパー派遣事業				
視覚に障害のある人にガイドヘルパーを派遣した。				
区 分	登録者数(人)	派遣申込件数(件)	延べ派遣人数(人)	報 酬(円)
平成22年度	24	109	116	412,500
平成21年度	22	67	73	292,050
(2) 重度心身障害者（児）タクシー料金助成事業				
重度の障害のある人がタクシーを利用した場合、その料金の一部を助成した。				
区 分	利用件数(件)	交付冊数(冊)	利用実人数(人)	金額(円)
平成22年度	20,126	968	764	12,441,060
平成21年度	18,552	914	625	11,222,330
(3) 福祉有償運送運営協議会				
福祉有償運送の登録申請（変更・更新）があり協議会を開催した。				
平成22年度 NPO法人フリースペース・うえるびー 1件				
ア 委員数 15人				
イ 開催状況				
区 分	開催(回)	開催時期	報償費(円)	
平成22年度	1	平成23年3月15日	52,000	
平成21年度	0	—	—	
12 入浴サービス事業				
入浴介助が必要な在宅の重度の障害のある人のための施設入浴を実施した。				
(1) 北部ふれあいセンター				
区 分	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	金額(円)	
平成22年度	2	51	858,500	
平成21年度	2	30	510,000	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(2) 湯日の里

区 分	実利用人数(人)	延べ利用回数(回)	金額(円)
平成22年度	1	71	1,207,000
平成21年度	2	116	1,972,000

13 障害者共同生活支援事業

(1) 心身障害者生活寮運営事業

生活寮の運営者に対して補助を行った。

区 分	施 設 名	所在地	援 護 実人員	援 護 延べ人員	補助金(円)
平成22年度	駿遠学園生活寮	島田市	1	12	937,536
	希望の家生活寮	島田市	4	48	3,750,144
	あしたかサンライズ宮本	沼津市	1	12	937,536
	合 計		6	72	5,625,216
平成21年度	駿遠学園生活寮	島田市	1	12	937,536
	希望の家生活寮	島田市	4	48	3,750,144
	あしたかサンライズ宮本	沼津市	1	12	937,536
	合 計		6	72	5,625,216

(2) 精神障害者共同住居管理運営事業

共同生活による日常生活訓練を通して社会復帰の促進を図るため、共同住居「やまびこ寮」を運営するNPO法人精神保健福祉島田親愛会に対し補助金を交付した。

区 分	定員(人)	援護実人員(人)	指導員数(人)	運営費補助金(円)
平成22年度	4	4	2	3,359,504
平成21年度	4	3	2	2,895,000

14 福祉団体育成事業

(1) 手をつなぐ育成会補助金

保護育成及び更生援護活動に要した事業費に対し補助を行った。

区 分	金 額(円)	事業内容
平成22年度	210,000	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、福祉活動の支援事業 ・そよかぜ青年学級活動の支援事業 等
平成21年度	210,000	

(2) 精神保健福祉島田親愛会補助金

島田親愛会が行う活動事業に対し補助を行った。

区 分	金 額(円)	事業内容
平成22年度	135,000	<ul style="list-style-type: none"> ・家族相談日の実施 ・障害者と地域との交流促進事業 ・作業所、共同住居、地域活動支援センター運営事業
平成21年度	135,000	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
(3) 島田市身体障害者福祉会補助金	島田市身体障害者福祉会が行う活動事業に対し補助を行った。				
区 分	金 額(円)	事業内容			
平成22年度	580,000	・相談員研修、会員交流イベント ・島田市障害者スポーツ大会開催			
平成21年度	580,000				
15 障害者配食サービス事業	調理が困難な身体障害者に対して栄養のあるバランスのとれた食事を定期的に提供し、食生活の改善を図るとともに、訪問時の安否確認を行った。				
区 分	実人数(人)	配食数(食)	金額(円)		
平成22年度	8	1,241	210,970		
平成21年度	9	1,178	202,240		
16 自立支援対策特例事業	(1) 通所サービス利用促進事業費補助金 (補助率 県3/4)				
通所サービス利用促進事業 (施設通所利用者の送迎) を行う施設に対し、補助を行った。					
区 分	施 設 名	利用者延べ人数(人)	補助額(円)		
平成22年度	ケアセンター野ばら	3,184	2,300,000		
	ケアセンターかたくりの花	3,499	3,000,000		
	ケアセンターこころ	408	486,000		
	計	7,091	5,786,000		
平成21年度	ケアセンター野ばら	3,276	2,400,000		
	ケアセンターかたくりの花	2,831	3,000,000		
	計	6,107	5,400,000		
(2) 通所サービス利用促進事業費負担金	他市町が補助を行う通所サービス利用促進事業を島田市内の利用者が利用した場合、補助に要する経費を案分して負担した。				
区 分	補助を行う市町	施 設 名	市町負担額(円)	案分率	島田市負担額(円)
平成22年度	焼津市	空と大地と	373,218	0.2852	106,000
	牧之原市	ケアセンターさざんか	750,000	0.1484	111,000
	吉田町	ワークセンターさくら	375,000	0.0926	34,000
	計				251,000
平成21年度	焼津市	空と大地と	292,764	0.2786	81,000
	牧之原市	ケアセンターさざんか	750,000	0.0884	66,000
	計				147,000
(3) 新事業移行促進事業補助金 (補助率 県3/4)	障害者自立支援対策臨時特例交付金に伴う事業で、新体系に移行した事業所の当月の利用者数に応じ以下の単価で補助を行った。				
区 分	定員区分	事業所数	単価(円)	実利用者数(人)	補助額(円)
平成22年度	生活介護等	3	5,700	10	57,000

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明			
平成21年度	施設入所支援	3	4,750	10	47,500
	計	6		20	104,500
	生活介護等	13	6,000	30	180,000
	施設入所支援	11	5,000	24	120,000
	計	24		54	300,000

(4) 事務処理安定化支援事業補助金（補助率 県3/4）

障害福祉サービス事業所であって、平成22年7月時点で、以下の基準に当てはまる事務職員を配置している事業所を対象として補助を行う予定であったが、平成22年度は実績がなかった。

平成21年度については、平成21年7月から10月までのいずれかの月に以下の要件を満たす事業所を対象として補助を行った。補助対象となるのは補助金の適用期間（平成21年度から平成23年度）を通して、1事業所1回限りであるが、平成21年7月から10月までの間に補助対象とならなかった場合でも、平成22年7月又は平成23年7月時点で要件を満たしている事業所については、当該年度において対象事業所として取り扱うこととなった。

- ア 定員60人以下 事務職員2人以上配置
- イ 定員61人以上80人以下 事務職員3人以上配置
- ウ 定員81人以上 事務職員4人以上配置

区 分	定員区分	事業所数	単価(円)	実利用者数(人)	補助額(円)
平成22年度	※実績なし	-	-	-	-
平成21年度	60人以下	5	20,000	16	320,000
	61人以上80人以下	3	15,000	7	105,000
	81人以上	4	10,000	7	70,000
	合計	12		30	495,000

3目 老人福祉費 決算額 268,522,307円

1 高齢者生きがい活動支援事業

(1) 老人福祉センター事業（市単独事業）

高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の場所を提供するため、施設の管理運営を行った。落雷による、火災報知機の誤作動を防ぐため、避雷機器を設置した。

利用人数(人)	利用団体(団体)	事業費(円)
4,357	88	8,051,142

事業名	事業概要	事業費(円)	備考
島田市立老人福祉センター 伊太なごみの里避雷ユニット設置工事	避雷ユニット1台	321,300	修繕料 島田防災設備(株)

(2) 敬老事業（市単独事業）

9月の敬老の日を記念し、88歳及び99歳以上の市民に対して島田市金券を贈呈し、祝福した。

区 分	人数(人)	祝 品(円)
88歳	470	島田市金券 10,000
99歳	31	島田市金券 20,000
100歳	25	島田市金券 30,000
101歳	15	
102歳	9	

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明	
103歳	6	島田市金券	50,000
104歳	2		
105歳	1		
107歳	1		
109歳	1		
計	561		7,180,000
商店への換金取次ぎ 事務業務委託料等			254,541
合 計			7,434,541

(3) 敬老会実施地区助成事業（市単独事業）

長寿を祝福するために敬老会を実施する町内会等に対し、その開催年度において75歳以上の者及び75歳となる予定の者1人につき、900円を限度として、費用の一部を助成した。

実施地区数	対象人数(人)	助成額(円)
108	12,743	11,468,700

(4) 老人クラブ補助金（国・県補助事業）

老人クラブに対し事業（教養活動事業、健康活動事業、地域活動事業）に要する経費を助成することにより、高齢者福祉の増進を図った。

区 分	クラブ数	会員数(人)	補助金(円)
単位老人クラブ助成金（25人以上）	64	3,421	3,699,760
単位老人クラブ助成金（24人以下）	9	158	306,000
小 計	73	3,579	4,005,760
老人クラブ連合会			2,079,480
合 計			6,085,240

(5) 生きがい対応型デイサービス事業

通所による日常動作訓練や生きがい活動等のサービスを提供することにより、自立生活の助長、社会的孤立感の解消を図り要介護状態になることを予防した。

施設名	実利用 人数 (人)	延べ利 用者数 (人)	1日平均 利用者数 (人)	委 託 料 (円)	委 託 先
はつくら	56	1,881	7.8	9,026,919	(福) 島田市社会福祉協議会
伊久身	26	1,178	8.1	4,542,302	
ふれあい	59	1,872	9.5	7,673,407	
さくら	49	1,770	9.2	7,953,060	
いなり	14	237	4.9	1,351,177	
おおい	56	1,729	7.2	11,500,000	ワーカーズコープ夢コープ
合 計	260	8,667		42,046,865	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
2 在宅福祉サービス事業					
(1) 緊急通報サービス事業	在宅ひとり暮らしの高齢者世帯等に緊急通報装置・火災感知器・ガス漏れ警報器の3点を設置し、24時間体制で緊急通報を受け付けることにより、在宅生活の継続を図った。				
	委託先	年間実利用世帯数 括弧内は3/31現在	緊急通報回数(回)	委託料(円)	
	日本連合警備㈱	535 (483)	532 (うち誤報498)	15,211,875	
	㈱TOKAI	4 (3)	0	85,915	
	合 計	539 (486)	532 (うち誤報498)	15,297,790	
(2) 外国人高齢者福祉手当支給事業	国民年金制度上、年齢的に無年金者となる外国人高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、月額11,000円を年3回に分けて支給した。				
	対象者(人)	支給額(円)			
	1	132,000			
(3) 軽度生活援助事業	在宅のひとり暮らし高齢者等が自立した生活を続けられるように軽易な日常生活上の援助を行うことにより要介護状態になることを予防した。				
	委 託 先	利用者数 (人)	派遣回数 (回)	利用時間 (時間)	委託料(円)
	(社)島田市シルバー 人材センター	65	2,198	4,125	3,467,500
(4) 日常生活用具給付事業	在宅ひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資するため、日常生活に必要な用具を購入した際に助成を図った。				
	種 類	利用者数(人)	給付券交付額(円)		
	電磁調理器	1	41,000		
(5) 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業	在宅ひとり暮らし高齢者等に寝具類の衛生管理のための水洗いや乾燥消毒等のサービスを行った。				
	委 託 先	利用者数(人)	利用回数(回)	委託料(円)	
	静岡県志太綿業組合	11	16	66,560	
	金谷ふとん商組合	2	2	10,800	
	川根町公共用品衣料	0	0	0	
	合 計	13	18	77,360	
(6) 訪問理美容サービス事業	老衰や心身の障害及び傷病等の理由により理髪店や美容院に向くことが困難な在宅高齢者に対して、居宅で手軽に散髪のサービスを受けられるようにするため、訪問理美容サービスを行った。				

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

委 託 先	利用者数 (人)	利用回数(回)	委託料(円)
静岡県理容生活衛生同業組合 島田支部島田地区	7	10	15,000
静岡県理容生活衛生同業組合 島田支部金谷地区	0	0	0
静岡県理容生活衛生同業組合 島田支部川根地区	0	0	0
合 計	7	10	15,000

(7) 移動支援サービス事業

公共交通機関の少ない川根地区において、外出困難な高齢者等の日常生活の利便性を高め、生きがい増進や閉じこもり防止を目的とし、在宅での自立した生活を支援するとともにその家族の負担の軽減を図るため事業を実施した。

委 託 先	利用者数 (人)	利用回数 (回)	委託料 (円)
(社) 島田市シルバー 人材センター	61	1,088	1,021,525

3 老人保護措置事業

(1) 養護老人ホームぎんもくせい管理運営事業

社会福祉法人「大井川厚生会」を指定管理者として、養護老人ホーム「ぎんもくせい」の管理運営を実施した。居宅において養護を受けることが困難な人を措置し、高齢者の福祉を推進した。

委 託 先	管理運営委託料(円)	備 考
(福)大井川厚生会	114,758,671	ぎんもくせい措置者 ・島田市 42人 ・他市町 1人 (H23. 3. 31現在)
	(内訳)	
	島田市分 112,151,161 他市分 2,607,510	

(2) 養護老人ホームぎんもくせい工事等の状況

感染防止対策及び安全確保のため工事等を実施し、入所者の処遇の向上を図った。

事 業 名	事業概要	事業費(円)	備 考
手洗い場・うがい場新設工事	玄関に2か所設置	924,000	工事請負費 (株)小桜建設工業
エアコン屋外機修理	1階廊下系統 コンプレッサー・インバーター基盤等の交換	367,500	修繕料 (株)エクノスワタナベ
自家発電機設備修理	バッテリー交換等	210,000	修繕料 高橋電気工業(株)
合 計		1,501,500	

(3) 老人保護措置費

環境上、経済上等の理由により、居宅において養護を受けることが困難な人を養護老人ホーム及び特別養護老人ホームに措置し、高齢者の福祉を推進した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

施 設 名	措置実人数 (人)	措置延べ月 (日)数	措置費 (円)
第二静光園 (浜松市)	2	22月	5,301,108
光 の 園 (長野県)	1	12月	3,720,022
相 寿 園 (牧之原市)	2	24月	4,424,210
福 寿 園 (愛知県)	1	12月	2,806,386
小 計	6	70月	16,251,726
永 福 荘 (島田市)	1	28日	43,484
本 田 山 荘 (島田市)	1	74日	255,701
小 計	2	102日	299,185
合 計	8		16,550,911

(4) 入所判定委員会

養護老人ホームへの適切な入所措置を実施するため、「老人ホームの入所について」(昭和59年厚生省社会局長通知)に基づき、入所判定委員会を開催した。

判定委員：内科医師、精神科医師、保健所長、社会福祉士、市民福祉部長及び養護老人ホーム施設長の6人
平成22年度の開催状況

開 催 日	判定件数(件)
平成22年7月16日	4
平成22年11月29日	2
平成23年3月15日	1
合 計	7

4 介護サービス利用支援事業

(1) 介護保険利用者負担対策事業 (国・県補助事業)

低所得者のうちでも極めて厳しい状況にある高齢者等について、社会的な役割のある社会福祉法人等による負担を基本として、利用者負担の軽減を図った。

対象者数(人)	補助額(円)
50	1,387,215

5 老人福祉施設整備事業

(1) 特別養護老人ホーム借入金償還金補助金

高齢者の福祉の増進を図るため、老人福祉施設を運営する社会福祉法人に対し、独立行政法人福祉医療機構入金の償還に要する経費の一部を補助した。

法人名(施設名)	金 額(円)	償還期間
(福)大井川厚生会 (永福荘)	420,000	H元～H30(30年間)
(福)初倉厚生会 (みどりの園)	6,343,500	H12～H28(17年間)
(福)島田福祉の杜 (あすか)	7,190,000	H16～H35(20年間)
(福)五和会 (本田山荘)	4,499,562	H 8～H27(20年間)
合 計	18,453,062	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
6 老人福祉施設管理運営事業	(1) 老人憩いの家管理運営経費 高齢者の教養の向上、レクリエーション等の場所を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図るため施設の管理運営を行った。地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業（21年度繰越明許費）を活用し、ロビー床張替え・トイレ改修工事を実施した。 また、川根地区に居住していたひとり暮らし高齢者の御遺族からの寄附金を財源に備品等を整備した。		
	ア 利用状況		
	利用回数 (回)	延べ利用者数 (人)	
	158	1,710	
	イ 備品等の整備状況		
	購入物品	事業概要	事業費(円) 備考
	座布団購入事業 (50枚)	銘仙判 50枚	68,775 はなくらふとん店
	全自動血圧計購入事業	1台	147,000 協和医科器械(株)焼津支店
	(2) 介護予防拠点施設（ふれあい健康プラザ）管理運営経費 高齢化が進む中、機能訓練や趣味・軽作業など気軽に行える場の提供と生きがい活動支援通所事業や通所型介護予防事業「げんき教室」を実施するなど、介護予防や認知症予防等の健康増進の向上を図った。管理運営については（福）島田市社会福祉協議会と指定管理者制度による協定を締結した。		
	開館日数(日)	延べ利用者数(人)	管理運営委託料(円)
	335	7,263	5,864,700
	(3) 温泉運搬経費 川根地区の老人福祉施設に川根温泉の源泉を運搬し、高齢者の健康増進を図るため温泉運搬事業を実施した。 委託先 (社)島田市シルバー人材センター 運搬先 ・介護予防拠点施設 毎月、第2・第4日曜日以外 1日3t ・川根デイサービスセンター 毎週、月～金曜日 // 2t ・とこはデイサービスセンター 毎週、月～金曜日 // 5t		
	支出区分	内 訳	金額(円)
	人件費	1,102 (時間)	1,157,100
	燃料費	2,347.02 (円)	311,091
	計	—	1,468,191
	平成22年度利用者数(人)	延べ	5,021人
7 緊急雇用創出事業	(1) 地域相談体制推進事業 市内3か所の地域包括支援センターに相談支援及び地域連携の補助要員を雇用して介護予防サービス計画作成を行った。 雇用期間:平成22年8月から平成23年3月まで 雇用人数:2人		
8 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業（繰越明許）	(1) 老人憩いの家修繕事業（繰越明許）		

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>事業概要</th> <th>事業費(円)</th> <th colspan="2">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(繰越明許費) 川根老人憩いの家修繕工事</td> <td>玄関ロビー床張替え トイレ内改修 (洋式トイレ 4箇所、手すり設置)</td> <td>1,218,000</td> <td colspan="2">(有) 中村住宅</td> </tr> </tbody> </table>				事 業 名	事業概要	事業費(円)	備 考		(繰越明許費) 川根老人憩いの家修繕工事	玄関ロビー床張替え トイレ内改修 (洋式トイレ 4箇所、手すり設置)	1,218,000	(有) 中村住宅	
事 業 名	事業概要	事業費(円)	備 考												
(繰越明許費) 川根老人憩いの家修繕工事	玄関ロビー床張替え トイレ内改修 (洋式トイレ 4箇所、手すり設置)	1,218,000	(有) 中村住宅												
4目 地区改善費		決算額	705,946円												
1 小集落改良住宅維持管理事業															
年間を通して全棟に入居があった。屋根雨漏修繕や床板の補修等を行い、住居環境維持を図った。 入居率：100% 20世帯															
2 福祉地区住宅資金管理状況															
(1) 年度末残高															
住宅改修															
区 分	貸 付 状 況		償還期限 到来額	滞 納 状 況											
	人数(人)	金額(円)		人数(人)	金額(円)										
平成22年度	183	199,040,000	198,707,742	6	10,047,808										
平成21年度	183	199,040,000	198,055,065	6	9,395,131										
宅地取得															
区 分	貸 付 状 況		償還期限 到来額	滞 納 状 況											
	人数(人)	金額(円)		人数(人)	金額(円)										
平成22年度	142	264,100,000	263,920,000	7	3,913,624										
平成21年度	142	264,100,000	263,575,000	7	3,780,196										
住宅新築															
区 分	貸 付 状 況		償還期限 到来額	滞 納 状 況											
	人数(人)	金額(円)		人数(人)	金額(円)										
平成22年度	124	550,800,000	550,800,000	10	10,883,270										
平成21年度	124	550,800,000	550,800,000	10	11,081,373										
合計															
区 分	貸 付 状 況		償還期限 到来額	滞 納 状 況											
	人数(人)	金額(円)		人数(人)	金額(円)										
平成22年度	449	1,013,940,000	1,013,427,742	23	24,844,702										
平成21年度	449	1,013,940,000	1,012,430,065	23	24,256,700										
(2) 償還状況															
ア 元金															
住宅改修 (単位：円)															
区 分	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)										
	現年度分	過年度分	小 計												
平成22年度	0	0	0	188,659,934	94.94										
平成21年度	634,571	55,223	689,794	188,659,934	95.26										

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

宅地取得 (単位：円)

区 分	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
平成22年度	165,000	46,572	211,572	260,006,376	98.52
平成21年度	180,000	47,163	227,163	259,794,804	98.57

住宅新築 (単位：円)

区 分	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
平成22年度	0	198,103	198,103	539,916,730	98.02
平成21年度	0	318,022	318,022	539,718,627	97.99

合計 (単位：円)

区 分	償 還 額(元金)			償還累計額	償 還 率 (%)
	現年度分	過年度分	小 計		
平成22年度	165,000	244,675	409,675	988,583,040	97.55
平成21年度	814,571	420,408	1,234,979	988,173,365	97.60

イ 元利合計

住宅改修 (単位：円)

区 分	償 還 額(元利合計)		
	現年度分	過年度分	計
平成22年度	0	0	0
平成21年度	645,456	58,620	704,076

宅地取得 (単位：円)

区 分	償 還 額(元利合計)		
	現年度分	過年度分	計
平成22年度	209,814	51,254	261,068
平成21年度	228,888	48,270	277,158

住宅新築 (単位：円)

区 分	償 還 額(元利合計)		
	現年度分	過年度分	計
平成22年度	0	208,980	208,980
平成21年度	0	337,462	337,462

合計 (単位：円)

区 分	償 還 額(元利合計)		
	現年度分	過年度分	計
平成22年度	209,814	260,234	470,048
平成21年度	874,344	444,352	1,318,696

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
5目 福祉館費	決算額	10,784,704円		
1 福祉館管理運営事業	手芸、料理等の講習会や会議室貸し出し等を行った。			
(1) 福祉館あけぼの				
	平成22年度	平成21年度		
区 分				
手芸・料理等の講習会	140回	140回		
会議室利用	293件	305件		
図書等閲覧利用人員	延べ92人	延べ108人		
相談件数	51件	50件		
(2) 番生寺会館				
	平成22年度	平成21年度		
区 分				
手芸・料理等の講習会	10回	12回		
会議室利用	197件	266件		
図書等閲覧利用人員	延べ82人	延べ32人		
相談件数	164件	135件		
6目 国民年金事務費	決算額	1,276,399円		
1 国民年金の状況	平成22年1月に、社会保険庁から日本年金機構に事務が移管された。市は、資格取得や給付裁定請求、各種届出等の事務、申請免除受付・進達事務、年金相談業務についての法定受託事務を行っている。			
	不安定な経済情勢により、将来への不安を感じる人も多い中で、市民の将来の年金確保のため、年金制度の説明及び年金相談や申請免除・納付猶予の促進等により未加入者の解消に努めた。			
(1) 国民年金被保険者	(単位：人)			
	平成22年度	平成21年度	増減	
区 分				
第1号被保険者	12,823	13,135	△312	
任意加入被保険者	106	86	20	
計	12,929	13,221	△292	
(2) 国民年金保険料免除承認件数 括弧は受付件数	(単位：件)			
	平成22年度	平成21年度	増減	
区 分				
申請免除 (納付猶予を含む。)	全額	(2,054) 942	(2,449) 962	(△395) △20
	3/4	113	118	△5
	半額	89	85	4
	1/4	30	56	△26
学生納付特例	(1,310) 1,219	(1,285) 1,116	(25) 103	
計	(3,364) 2,393	(3,734) 2,337	(△370) 56	
法定免除	738	687	51	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
(3) 国民年金裁定請求受付件数	(単位：件)		
区 分	平成22年度	平成21年度	増 減
老齢基礎年金	47	90	△43
障害基礎年金	46	45	1
遺 族 年 金	1	2	△1
寡 婦 年 金	1	0	1
死亡一時金	17	31	△14
特別障害給付金	0	0	0
計	112	168	△56
7目 国民健康保険費	決算額	449,587,420円	
1 国民健康保険事業特別会計繰出金	国民健康保険事業特別会計運営のため、保険税軽減分、職員給与費等事務費、出産育児一時金支給費等について国民健康保険事業特別会計へ繰り出した。 国民健康保険事業特別会計への繰出金の状況 (単位：円)		
区 分	繰出額		
保険基盤安定繰出金 (保険税軽減分)	211,143,240		
保険基盤安定繰出金 (保険者支援分)	48,730,034		
出産育児一時金繰出金	25,546,980		
財政安定化支援事業繰出金	37,675,044		
その他繰出金	3,824,899		
事務費等繰出金	122,667,223		
合 計	449,587,420		
8目 介護保険費	決算額	875,939,196円	
1 介護保険事業特別会計繰出金	介護保険事業特別会計運営のため、介護給付費、介護認定等事務費、職員給与費等事務費及び地域支援事業費について介護保険事業特別会計へ繰り出した。 介護保険事業特別会計への繰出金の状況		
区 分	繰出額(円)		
介護給付費繰出金	681,332,377		
介護認定等事務費繰出金	37,482,331		
職員給与費等繰出金	131,371,482		
地域支援事業費繰出金	25,753,006		
合 計	875,939,196		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
9目 社会福祉振興基金費	決算額	1, 7 4 1, 0 4 2 円				
1 社会福祉振興基金積立金						
基金の状況 (単位：円)						
区 分	利子積立額	新規積立額	取り崩し額	年度末残高		
平成22年度	6, 863	1, 734, 179	0	36, 179, 151		
平成21年度	7, 475	630, 119	0	34, 438, 109		
10目 後期高齢者医療費	決算額	9 0 8, 0 3 5, 9 9 6 円				
1 後期高齢者医療事業特別会計繰出金						
後期高齢者医療事業特別会計運営のため、事務費繰出金及び保険基盤安定繰出金について後期高齢者医療事業特別会計へ繰り出した。						
後期高齢者医療事業特別会計への繰出金の状況 (単位：円)						
区 分	繰出額					
事務費繰出金	38, 944, 000					
保険基盤安定繰出金	147, 583, 934					
合 計	186, 527, 934					
2 後期高齢者医療広域連合負担金						
静岡県後期高齢者医療広域連合へ市の法定負担分の概算額を支出した。過不足分は翌年度精算する。						
(単位：円)						
区 分	繰出額					
療養給付費等負担金	695, 791, 000					
3 健康推進事業						
(1) 健康管理事業【平成22年度新規事業】						
後期高齢者医療制度の被保険者で、保険料の滞納が無い者に対し、人間ドック費用の7割を助成した。						
平成22年度人間ドック費用助成実績 (単位：件、円)						
健診機関名称	コース	件数	助成単価	助成金額		
市立島田市民病院健診センター	日帰り	112	26, 460	2, 963, 520		
(2) 健康診査事業						
高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、静岡県後期高齢者医療広域連合が被保険者に対し実施(努力義務)する健康診査について、国保特定健康診査に準じた内容で受託し実施した。						
平成22年度健康診査実施状況 (単位：人、%、円)						
地区	形態	対象者	受診者数	受診率	健診委託料	実施機関
島田	個別	9, 211	2, 394	27. 2	13, 800, 780	(社)島田市医師会
	集団		112		713, 104	市立島田市民病院 (社)榛原医師会
金谷	集団	2, 834	625	22. 1	2, 290, 269	(社)榛原医師会
川根	集団	1, 149	300	26. 1	1, 085, 503	静岡厚生病院 (社)榛原医師会
計		13, 194	3, 431	26. 0	17, 889, 656	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
2項 児童福祉費	決算額	4, 539, 676, 610円
1目 児童福祉総務費	決算額	2, 080, 996, 290円

1 家庭児童相談室運営事業

平成 22 年度は島田市要保護児童対策地域協議会として協議対象の拡大、3 部会による具体的対応をスタートし、家庭児童相談室は各 3 部会との関わりを持って個別ケースに対するアセスメント支援、あるいは部会間の調整を行った。

今後、少子化、生活環境の変化に伴い、子どもの健全育成、母親の育児不安等の解消は重要な課題であり、家庭児童相談室では支援、援助活動の要として早期発見、低年齢児の段階での対応を目標に広範囲に、きめ細かな活動を行った。また、各機関との連携をもって子ども達の自立まで支援できるようケース管理体制の見直しを行った。

相談室では、家庭その他からの相談に応じ、子どもの置かれた環境の状況を的確に捉え、支援や関係機関への連絡等個々の子どもや家庭に最も効果的な援助を行い、子どもの健全育成と母親の育児不安への軽減に努めた。

家庭児童相談室における相談

単位：件（実数）

相 談 内 容	平成22年度	平成21年度
性格・生活習慣	60	89
知能・言語	49	126
学校生活等	24	13
非行	13	16
家族関係	75	37
児童虐待	103	90
DV	11	15
環境福祉	28	39
障害	30	41
その他	18	6
計	411	472

相談後の児童福祉法に基づく処理件数

単位：件（実数）

処 理 区 分	平成22年度	平成21年度
社会福祉主事の指導	3	47
児童相談所への送致又は通知	3	3
児童相談所の委嘱による調査	2	11
その他の機関にあつ旋、紹介	26	48
相談、助言、その他	377	363
計	411	472

島田市要保護児童対策地域対策協議会活動実績

年度	実 績
21	島田市要保護児童対策地域対策協議会 1 回 ケース処遇検討会 6 回
22	島田市要保護児童対策地域対策協議会代表者会 1 回 (実務者会議) 児童生徒指導、虐待、DV部会 5 回 母子保健、乳幼児部会 12 回 障害児等療育部会 3 回

2 民間保育所運営事業

(1) 民間保育所助成事業

ア 市単独補助事業

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

より充実した保育を実施するため、国で定められた運営費に上乗せした補助を行い、市内民間保育所12園への支援を行った。

(ア) 保育所等運営費補助金

- ・児童の保育に要する経費
- ・職員の勤務条件及び研修に要する経費

(イ) 障害児保育事業費補助金

- ・特別児童扶養手当の認定を受けた児童（重度障害児）及び公的機関の認定、または診断を受けた軽度障害児の保育に要する経費

(ウ) 茶期一時保育事業委託

大型連休中、茶業により保育に欠ける児童を保育するために要する経費

事業名	事業の概要	委託額	事業主体
茶期一時保育事業	事業期間 平成22. 4. 25～22. 5. 6	96,000円	五和保育園
	保育日1日あたり保育士2名配置	96,000円	神谷城保育園

(エ) 発達支援交流保育事業費補助金

「島田市子ども発達支援センター」の児童デイサービス事業を利用する児童の発達を支援するため、隣接する「大津保育園」との交流・連携の推進に要する経費に対し補助金を交付した。

事業名	事業の概要	交付額	事業主体
発達支援交流保育事業	事業期間 平成22. 4. 1～23. 3. 31 総事業費 5,673,325円	5,400,000円	社会福祉法人 五和会 (大津保育園)

イ 多様な保育推進事業費補助金（県補助）

乳幼児の受け入れ推進を図るための助成を行った。

(ア) 乳幼児保育事業（全園実施）

ウ 保育対策等促進事業費補助金（国庫補助）

(ア) 延長保育等事業費補助金

- ・延長保育促進事業（全園実施）
- ・多世代の交流促進及び育児支援のため実施する行事に要する経費
（次世代育成支援対策交付金）（民間9園）

(イ) 病後児保育事業

病気の回復期で集団保育が心配なとき、かつ保護者が仕事等で保育できない場合に、専任の看護師と保育士が保育した。

対象…市内の小学校3年生までの児童

実施園…島田聖母保育園、初倉保育園、五和保育園、大津保育園

エ 一時預かり事業（次世代育成支援対策交付金）

(ア) 一時的な保育の利用を受け入れた保育所に対し助成を行い、多様化する保護者のニーズに応えた。

こばと保育園、六合第一保育園、月坂保育園、かわね保育園

平成22年度 保育所別各種補助金内訳

(単位：円)

施設名	保育所等運営費補助金(市)	障害児保育事業費補助金(市)	多様な保育推進事業費補助金(県)	延長保育等事業費補助金(国)	病後時保育事業業務委託費(国)	一時預かり事業費補助金(交付金)	合計
こばと保育園	1,302,200	1,776,000	3,142,200	5,069,000	0	180,900	11,470,300
島田聖母保育園	2,150,600	0	6,684,800	5,731,000	3,133,000	0	17,699,400
初倉保育園	2,147,000	2,553,000	6,361,600	5,981,000	3,804,000	0	20,846,600
六合第一保育園	2,101,400	1,776,000	6,099,000	5,891,989	0	346,500	16,214,889
六合第二保育園	1,881,800	1,887,000	5,557,700	5,810,075	0	0	15,136,575

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明					
月坂保育園	2,186,600	888,000	5,950,700	5,731,000	0	506,700	15,263,000
くりのみ保育園	1,198,400	1,443,000	2,974,200	5,069,000	0	0	10,684,600
たけのこ保育園	1,107,800	1,332,000	2,210,800	5,183,000	0	0	9,833,600
ゆたか保育園	1,528,400	2,072,000	3,231,700	5,981,000	0	0	12,813,100
五和保育園	4,044,200	1,887,000	16,440,700	6,013,222	9,399,000	0	37,784,122
神谷城保育園	1,657,400	0	3,122,400	4,819,000	0	0	9,598,800
大津保育園	1,917,200	5,698,000	5,592,300	6,231,000	5,222,000	0	24,660,500
川根 本町	徳山聖母 保育園	0	0	101,000	0	0	101,000
合 計	23,223,000	21,312,000	67,469,100	67,510,286	21,558,000	1,034,100	202,106,486

オ 民間保育園所等施設整備費補助金

民間保育所施設の整備事業（平成21～22年度の2か年事業）に対して補助金を交付し、児童福祉施設の整備を図り、平成22年7月開園した。

事業名	事業の概要	事業費等(円)	備考
六合第一保育園 整備事業	園舎増改築 鉄骨造2階建 建築面積 564.73㎡ 延床面積 866.86㎡ 既存園舎解体工事 延床面積 453.60㎡ 仮設園舎工事 延床面積 457.57㎡	H21事業費 108,675,000 (財源内訳) 市補助金 70,250,000 (内県費補助金 45,166,000) 設置者負担金 38,425,000	(事業主体) 社会福祉法人 六合福祉会
		H22事業費 167,439,000 (財源内訳) 市補助金 80,859,000 (内県費補助金 51,879,000) 設置者負担金 86,580,000	
		総事業費 276,114,000 (財源内訳) 市補助金 151,109,000 (内県費補助金 97,045,000) 設置者負担金 125,005,000	

(2) 民間保育所委託運営事業

民間保育所へ乳幼児（2か月～就学前）の入所措置を行い、児童の健全育成と保護者の就労等支援を図った。就学前児童は漸減傾向にあるが、就労形態の変化や母子世帯の増加などにより、入所児童は年々増加している。

平成22年度民間及び市外保育所運営費（支出額）（単位：円）

区 分	金 額	備 考
国・県負担金	469,923,622	
市負担金	256,989,008	市負担金 156,641,207 保育料軽減額分の負担額 100,347,801
保育料	373,079,860	市の基準による保育料
平成22年度	1,099,992,490	
平成21年度	1,097,811,350	
増 減	2,181,140	

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

平成23年3月初日現在入所児童数 (単位：人)

保育所名	定数	入所 児童数	年齢別内訳			
			0～2歳児	3歳児	4～5歳児	
市 内	こぼと保育園	45	54	27	9	18
	島田聖母保育園	120	140	63	26	51
	初倉保育園	140	135	58	23	54
	六合第一保育園	120	126	59	23	44
	六合第二保育園	90	117	51	21	45
	月坂保育園	100	117	56	17	44
	くりのみ保育園	45	50	26	7	17
	たけのこ保育園	30	32	16	7	9
	ゆたか保育園	60	74	29	12	33
	五和保育園	300	326	130	64	132
	神谷城保育園	90	81	28	18	35
	大津保育園	90	113	47	14	52
	小計	1,230	1,365	590	241	534
市外からの受託	—	37	11	9	17	
市外保育園	—	3	1	0	2	
合計	1,230	1,405	602	250	553	
前年同期合計	1,210	1,409	577	283	549	
増減	20	△4	25	△33	4	

保育所入所者状況 (公立含む。)

(単位：人)

保育所名	23年3月1日	22年3月1日	増減	
公 立	第一保育園	115	124	△9
	第三保育園	93	104	△11
	金谷中央保育園	99	92	7
	かわね保育園	106	106	0
	市外からの受託	8	4	4
	計	421	430	△9
民 間	こぼと保育園	54	56	△2
	島田聖母保育園	140	139	1
	初倉保育園	135	137	△2
	六合第一保育園	126	116	10
	六合第二保育園	117	115	2
	月坂保育園	117	108	9
	くりのみ保育園	50	53	△3
	たけのこ保育園	32	35	△3
	ゆたか保育園	74	73	1
	五和保育園	326	346	△20
	神谷城保育園	81	79	2
	大津保育園	113	118	△5
	市外からの受託	37	33	4
計	1,402	1,408	△6	
市外保育園	3	1	2	
合計	1,826	1,839	△13	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

3 放課後児童健全育成事業

(1) 放課後児童クラブ運営事業

小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に、放課後の適切な遊びと生活の場を与えるため、放課後児童クラブの運営を各運営委員会等に委託し、児童の健全育成を図った。

平成22年度は、公設民営11か所、公設公営2か所、民設民営2か所の放課後児童クラブと公設公営の土曜児童クラブ1か所で事業を実施した。

放課後児童クラブ運営状況

名 称	形 態	月 平 均 登録児童数 (人)	委 託 料 (円)	
			平成22年度	平成21年度
金谷小学校区放課後児童クラブ	公設公営	49.8	—	—
島田北部4小学校区放課後児童クラブ	公設公営	28.3	—	—
島田市土曜児童クラブ	公設公営	6.8	—	—
島田第一小学校区放課後児童クラブ	公設民営	43.3	7,328,000	7,532,000
島田第二小学校区放課後児童クラブ	公設民営	35.0	5,024,000	4,726,000
島田第三小学校区放課後児童クラブ	公設民営	28.6	5,100,000	5,340,000
島田第四小学校区放課後児童クラブ	公設民営	45.3	7,195,000	7,018,000
島田第五小学校区放課後児童クラブ	公設民営	25.0	4,514,000	4,666,000
大津小学校区放課後児童クラブ	公設民営	33.3	5,756,000	5,584,000
初倉小学校放課後児童クラブ	公設民営	37.3	5,143,000	5,267,000
初倉南小学校放課後児童クラブ	公設民営	23.8	5,594,000	5,162,000
六合小学校区放課後児童クラブ	公設民営	21.3	4,275,000	4,266,000
六合東小学校区放課後児童クラブ	公設民営	43.6	6,399,000	6,082,000
五和小学校区放課後児童クラブ	公設民営	38.3	6,361,000	— H21公設公営
島田六合放課後児童クラブ「りんご」	民設民営	40.0	4,480,000	3,803,000
神谷城保育園放課後児童クラブ	民設民営	19.0	1,186,500	1,612,000
計			68,355,500	61,058,000

放課後児童クラブ利用料の収納状況 (単位：円)

平成22年度	平成21年度	増 減
35,082,000	31,663,000	3,419,000

※土曜児童クラブ利用料を含む。

(2) 放課後児童クラブ等施設整備事業

定員超過の課題を抱える島田第三小学校区放課後児童クラブにおいて、クラブ室の拡張工事を行った。

事 業 名	事業の概要	事業費(円)	備 考
第三小学校区 放課後児童クラブ室 拡張工事	定員超過解消のため、既設クラブ室を拡張した。 (鉄筋コンクリート造 A=31.89㎡)	6,605,550 (財源内訳) 県補助金 1,000,000 一般財源 5,605,550	工事請負業者 (株)アーク東海

4 地域子育て支援事業

(1) 地域子育て支援センター事業

子育て家庭等からの育児不安などの相談や子育て支援に関する情報等を提供し、地域の子育て家庭への育児支援のため、公立の第一保育園、第三保育園及びかわね保育園で事業を実施した。また、民間保育園7か所においても委託事業として取り組んだ。

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

実施保育園		名 称	年度	開放日数 (日)	利用延べ人数 (人)	相談件数 (件)	
公 立	第一保育園	あそぼう会	22	245	7,411	109	
			21	242	6,547	105	
	第三保育園	あひるっこ	22	226	6,151	63	
			21	233	6,708	128	
	かわね保育園	むくむく	22	239	4,987	71	
			21	243	4,862	42	
民 間	くりのみ保育園	木の実	22	237	3,108	228	
			21	242	2,701	227	
	五和保育園	ひよこ	22	261	8,563	772	
			21	267	7,505	773	
	島田聖母保育園	シャローム	22	211	3,147	454	
			21	205	2,111	381	
	初倉保育園	たんぼぼ広場	22	245	4,736	180	
			21	243	4,482	207	
	六合第二保育園	にこにこ広場	22	239	3,425	63	
			21	234	2,402	60	
	ゆたか保育園	子育てふうせん	22	234	2,310	163	
			21	231	1,686	94	
	大津保育園	ひばり	22	225	4,066	137	
			21	227	4,444	147	
	合 計			22	2,362	47,904	2,240
				21	2,367	43,448	2,164

(2) 託児員派遣事業

子育て支援及び女性の積極的な社会参加を促すため、市などが行う講座・講演会等に託児室を設置する託児員派遣事業を実施した。

区分	平成22年度	平成21年度	増減
派遣実人員(人)	546	459	87
派遣延べ回数(回)	75	65	10
託児延べ人数(人)	927	816	111

5 児童センター運営事業

児童に健全な遊びを与え、健康と体力を増進し、情操を豊かにするための事業を実施した。また、児童センター及び児童館を拠点に親子の交流事業等を行う母親クラブに補助金を交付し地域活動の促進に努めた。

児童センター運営状況（利用状況）

区 分	開館日数	利用者数	1日平均利用者数		
			平成22年度	平成21年度	増減
中央児童センター	282日	26,612人	95人	100人	△5人
初倉児童センター	283日	31,530人	112人	91人	21人
川根児童館	294日	11,821人	41人	40人	1人

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

地域組織（母親クラブ）活動育成事業実施状況

クラブ名	会員(人)	決算額(円)		補助額(円)	主 要 事 業 内 容
		平成22年度	平成21年度		
しまだ ライラック	67	203,487	198,827	189,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織活動連絡協議会研修会参加 ・児童センター共催クリスマス会等開催 ・親子交流行事の企画実施 ・遊び場点検の実施
初倉母親 クラブ	60	272,757	250,789	189,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織活動連絡協議会研修会参加 ・児童センター共催クリスマス会等開催 ・親子交流行事の企画実施 ・児童センター大掃除などの奉仕活動
みらい子 育てネッ ト川根	34	128,8200	190,819	189,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地域組織活動連絡協議会研修会参加 ・文化祭、産業祭への参加 ・環境美化作業

6 子育て交流サロン運営事業

(1) 子育てサロン

島田市地域交流センター内「子育て交流サロン」において、乳幼児、児童、保護者同士の交流の場を提供するとともに、育児相談等に対応し、育児不安の軽減及び子育ての孤立化防止を図った。

子育てサロン利用者数 (単位：人)

区分	大人	子ども	計
平成22年度	3,787	4,259	8,046
平成21年度	3,642	4,254	7,896
増減	145	5	150

(2) 一時託児

保護者の緊急の用事、仕事、リフレッシュ等のため、乳幼児の一時託児事業を実施した。

一時託児利用件数 (単位：件)

区分	午前10時～午後7時	午後7時～午後9時
平成22年度	421	2
平成21年度	466	1
増減	△45	1

(3) ファミリー・サポート・センター事業

委託会員と受託会員との会員組織による育児サービス事業を実施するため、援助の申し入れや打診など会員相互の調整を行い、子育て支援活動の促進を図った。

ファミリー・サポート・センター活動実績

区分	年度末会員数 (人)				年間活動回数 (件)
	委託	受託	委託受託	計	
平成22年度	236	103	70	409	606
平成21年度	270	91	75	436	218
増減	△34	12	△5	△27	388

7 保育ママ運営事業【平成22年度新規事業】

(1) 保育ママ運営事業（家庭的保育事業）

家庭的保育事業は、保護者が就労などで子どもを保育することができないとき、子どもを島田市の認定を受け

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																																						
	<p>た保育者が居宅などの専用の保育室で保育する小規模の保育事業である。児童福祉法が改正され、平成22年度から児童福祉法上に位置づけられた保育事業として、保育所と同じように保育の役割を担い、多様な保育ニーズに対応するとともに保育所待機児童の解消を図った。</p> <p>保育ママ利用者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>家庭的保育者</th> <th>利用児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				区分	家庭的保育者	利用児童数	平成22年度	4	5																													
区分	家庭的保育者	利用児童数																																					
平成22年度	4	5																																					
8 地域子育て創生事業【平成22年度新規事業】																																							
(1) 新型インフルエンザ対策支援事業	<p>保育所等に空気清浄機を配備し、新型インフルエンザ対策の充実を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配備箇所</th> <th>箇所数(箇所)</th> <th>台数(台)</th> <th>事業費(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間保育所</td> <td>11</td> <td>74</td> <td>3,922,875</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公立保育所</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>552,825</td> <td>地域子育て支援センター分を含む</td> </tr> <tr> <td>児童館</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>184,275</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子育て交流サロン</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>40,950</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブ</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>498,960</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>32</td> <td>130</td> <td>5,199,885</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				配備箇所	箇所数(箇所)	台数(台)	事業費(円)	備考	民間保育所	11	74	3,922,875		公立保育所	4	27	552,825	地域子育て支援センター分を含む	児童館	3	9	184,275		子育て交流サロン	1	2	40,950		放課後児童クラブ	13	18	498,960		合 計	32	130	5,199,885	
配備箇所	箇所数(箇所)	台数(台)	事業費(円)	備考																																			
民間保育所	11	74	3,922,875																																				
公立保育所	4	27	552,825	地域子育て支援センター分を含む																																			
児童館	3	9	184,275																																				
子育て交流サロン	1	2	40,950																																				
放課後児童クラブ	13	18	498,960																																				
合 計	32	130	5,199,885																																				
(2) 病後児感染症対策支援事業	<p>病後児保育を実施している保育所の備品整備に対して補助金を交付し、感染症対策の充実を図った。</p> <p>実施保育所 4保育所 補助金額 1,200,000円</p>																																						
(3) 赤ちゃん駅整備事業	<p>授乳やおむつ替えのできるスペース(赤ちゃん駅)を4か所整備し、表示用のフラッグを作成した。また、表示用フラッグは、おむつ替えのできるその他の公共施設にも配布した。</p> <p>授乳・おむつ替えのできる施設 6施設 おむつ替えのできる施設 21施設</p>																																						
2目 児童手当費	決算額	133,792,064円																																					
1 児童手当扶助費	<p>児童を養育している者に児童手当を支給し、家庭における生活の安定に寄与した。</p> <p>児童手当支給状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>児童延べ人数(人)</th> <th>支 給 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被 用 者</td> <td>3,710</td> <td>37,100,000</td> </tr> <tr> <td>特 例 給 付</td> <td>79</td> <td>790,000</td> </tr> <tr> <td>非 被 用 者</td> <td>825</td> <td>8,250,000</td> </tr> <tr> <td>被用者小学校修了前特例給付</td> <td>12,533</td> <td>69,915,000</td> </tr> <tr> <td>非被用者小学校修了前特例給付</td> <td>2,972</td> <td>16,985,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,119</td> <td>133,040,000</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>117,429</td> <td>780,305,000</td> </tr> <tr> <td>増 減 (※)</td> <td>△97,310</td> <td>△647,265,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成22年4月より子ども手当へ移行したため、平成22年度の児童手当支給額は平成22年2月、3月分のみとなった。</p>				区 分	児童延べ人数(人)	支 給 額(円)	被 用 者	3,710	37,100,000	特 例 給 付	79	790,000	非 被 用 者	825	8,250,000	被用者小学校修了前特例給付	12,533	69,915,000	非被用者小学校修了前特例給付	2,972	16,985,000	計	20,119	133,040,000	平成21年度	117,429	780,305,000	増 減 (※)	△97,310	△647,265,000								
区 分	児童延べ人数(人)	支 給 額(円)																																					
被 用 者	3,710	37,100,000																																					
特 例 給 付	79	790,000																																					
非 被 用 者	825	8,250,000																																					
被用者小学校修了前特例給付	12,533	69,915,000																																					
非被用者小学校修了前特例給付	2,972	16,985,000																																					
計	20,119	133,040,000																																					
平成21年度	117,429	780,305,000																																					
増 減 (※)	△97,310	△647,265,000																																					
3目 子ども手当費	決算額	1,661,622,241円																																					
1 子ども手当扶助費【平成22年度新規事業】	<p>児童を養育している者に子ども手当を支給し、子どもの健やかな育ちを支援することに寄与した。</p> <p>子ども手当支給状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>児童延べ人数(人)</th> <th>支 給 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0～3歳被用者</td> <td>19,384</td> <td>251,992,000</td> </tr> <tr> <td>0～3歳非被用者</td> <td>4,010</td> <td>52,130,000</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	児童延べ人数(人)	支 給 額(円)	0～3歳被用者	19,384	251,992,000	0～3歳非被用者	4,010	52,130,000																										
区 分	児童延べ人数(人)	支 給 額(円)																																					
0～3歳被用者	19,384	251,992,000																																					
0～3歳非被用者	4,010	52,130,000																																					

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明	
3歳以上小学校修了前被用者	63,795	829,335,000
3歳以上小学校修了前非被用者	14,121	183,573,000
中学生	26,118	339,534,000
計	127,428	1,656,564,000
平成21年度	—	—
増 減	127,428	1,656,564,000

※平成22年4月より子ども手当が発足したため、平成22年度の子ども手当支給額は平成22年4月から平成23年1月分のみとなった。

4目 母子福祉費	決算額	250,148,815円
----------	-----	--------------

1 母子家庭等支援事業

(1) 母子家庭等支援事業

ア 高等職業訓練促進給付金事業
資格取得のための養成機関（看護学校）で修業する母子家庭の母に対して、高等職業訓練促進給付金を支給した。

区分	申請件数(件)	支給実人数(人)	支給金額(円)
平成22年度	3	3	5,076,000
平成21年度	4	4	5,564,000

イ 自立支援教育訓練給付金事業
平成22年度の支給はなかった。

区分	申請件数(件)	支給実人数(人)	支給金額(円)
平成22年度	0	0	0
平成21年度	1	1	61,604

ウ 母子生活支援施設委託措置事業
保護すべき事情のある母子の施設入所を行い、精神的、経済的に自立更生ができるよう総合的な保護と指導を行った。

施設入所措置状況

区分	措置実人員(人)	措置延べ人員(人)	措置費(円)	施設名
平成22年度	5	42	2,665,098	千代田寮 (静岡市)
平成21年度	3	36	2,125,630	

※措置延べ人員は、月ごとの措置実人員を集計したものである。

(2) 父子家庭等支援事業
児童扶養手当では、父子家庭は対象外であるため、父子家庭にも児童扶養手当と同程度の手当を支給し、父子家庭等の児童の福祉増進を図った。
平成22年8月から児童扶養手当法の改正により父子家庭が児童扶養手当の対象となったため、15名が児童扶養手当に移行した。

父子家庭等支援金支給状況

区分	3月末支給人数(人)	支給額(円)
平成22年度	2	4,709,100
平成21年度	17	5,515,990

2 児童扶養手当支給事業

(1) 児童扶養手当扶助費

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童がいる母子家庭等に児童扶養手当を支給し、母子家庭等の児童の福祉増進を図った。 児童扶養手当支給状況				
	区分	3月末認定者数 (人)	支給者数(人) (認定者のうち実際に手当を受給している人・3月末)		
	平成22年度	636	565		
	平成21年度	654	543		
5目 心身障害児援護費	決算額	88,594,269円			
1 心身障害児援護事務費					
(1) 心身障害児通園施設運営費負担金	日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練などの児童デイサービスを実施しているつくしの家(牧之原市)の運営費の一部を負担した。				
	区分	負担金額(円)			
	平成22年度	1,202,950			
	平成21年度	1,120,250			
2 こども発達支援センター運営事業	心身に障害のある就学前の児童に日常生活指導及び療育指導等を行った。				
(1) 児童デイサービス事業	(単位：人)				
	区分	定期通園	親子通園	並行通園	計
平成22年度	実人数	25	20	25	70
	延人数	248	164	209	621
平成21年度	実人数	24	20	25	69
	延人数	260	138	235	633
※延人数は月ごとの在園人数を集計したものである。					
(2) 日中一時支援事業	障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息等のために、こども発達支援センターで障害児の見守りなどの支援を行った。				
	区分	利用人数(人)			
	平成22年度	2			
	平成21年度	1			
3 心身障害児援護事業					
(1) 心身障害児施設機能利用事業	在宅の心身障害児に対して、施設の機能を活用した日常生活訓練・運動訓練・感覚訓練・個別指導(療育相談)を駿遠学園「おひさま」において実施した。				
	区分	通所人数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	
	平成22年度	25	471	1,196,400	
	平成21年度	15	408	978,000	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
(2) 心身障害児童扶養手当	特別児童扶養手当の対象とならない軽度の障害をもつ児童の養育者に給付し、生活支援を行った。				
	区 分	支給実人数(人)	支給金額(円)		
	平成22年度	38	1,068,000		
	平成21年度	38	1,107,000		
(3) 障害児放課後児童クラブ運営事業	障害児の放課後活動を支援するため、放課後児童クラブの運営を委託した。				
	風の子				
	区 分	登録児童数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	委託先
	平成22年度	45	1,513	2,845,900	駿遠学園管理組合
	平成21年度	47	1,300	2,461,200	駿遠学園管理組合
	にこにこ				
	区 分	登録児童数(人)	利用延べ回数(回)	事業費(円)	委託先
	平成22年度	27	1,299	2,545,500	駿遠学園管理組合
	平成21年度	26	1,288	2,393,300	駿遠学園管理組合
4 駿遠学園管理組合運営費負担金	障害児の生活適応能力の向上を図るため、5市2町の広域施設として運営しており、均等割と人口割により各市町で負担している。島田市から11人の障害児が入所し、将来自立するための指導・訓練を受けている。				
	負担割合…人口割 70% 均等割 30% (児童入所分24,982千円、ケアホーム改修・運営分21,110千円)				
	負担金額				
	区 分	金 額(円)			
	平成22年度	46,092,000			
	平成21年度	27,902,000			
5 心身障害者扶養共済年金事業	(1) 心身障害者扶養共済掛金負担金				
	心身障害者の将来的な生活安定を図るため県の制度に基づき事務処理を行った。				
	区 分	加入者数(人)	負担金額(円)		
	平成22年度	23	1,063,680		
	平成21年度	23	1,208,520		
	(2) 心身障害者扶養共済年金交付金				
	県の制度による年金の支給事務を行った。				
	区 分	受給実人員(人)	交付金額(円)		
	平成22年度	25	6,830,000		
	平成21年度	27	8,600,000		
	(3) 特別児童扶養手当				
	国の制度を受けての書類手続きによる、養育者の生活支援を行った。				

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
特別児童扶養手当取扱状況					
区 分	認定者(人)	受給者(人)			
平成22年度	206	198			
平成21年度	198	182			
6目 保育所費	決算額 170,742,468円				
1 保育所運営事業					
社会環境や雇用形態の変化により、複雑・多様化する保育需要に応じていくため、公立保育園4園において積極的な園児の受け入れと、延長保育及び障害児保育等を実施し、保育の充実と児童の健全育成に努めた。					
平成23年3月初日入所児童数 (単位：人)					
保育所名	定 数	入所児童数	年齢別内訳		
			0～2歳児	3歳児	4～5歳児
第一保育園	120	115	43	23	49
第三保育園	80	93	42	19	32
金谷中央保育園	90	99	38	17	44
かわね保育園	150	106	25	24	57
小 計	440	413	148	83	182
市外からの受託	—	8	5	0	3
合 計	440	421	153	83	185
前年同期合計	440	432	147	92	193
増 減	0	△11	6	△9	△8
2 緊急雇用創出事業					
(1) 保育園清掃業務等補助事業					
内 容：公立保育園の清掃及び給食業務の補助(各園に1人)					
雇用期間・人数：平成22年10月18日から平成23年3月31日まで 3人					
平成22年12月1日から平成23年3月31日まで 1人					
3 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業(繰越明許)					
(1) 公立保育園施設修繕事業(繰越明許)					
事業名	事業の概要		事業費(円)		備 考
平成22年度第三保育園飛散防止フィルム貼替工事	経年劣化した既設のガラス飛散防止フィルムを撤去し、新規フィルムに張替えた。		966,000	(財源内訳) 国交付金 966,000	工事請負業者 (株)アーク東海
7目 少子化対策費	62,635,045円				
1 少子化対策事業					
(1) さわやか子育て支援金支給事業					
ア 目的					
子育てを行う家庭の生活安定と経済負担の軽減に寄与するとともに、少子化対策と定住人口増対策及び地域経済の活性化に資することを目的とする。					
イ 対象者					
対象児を出生する前1年以上、本市の住民基本台帳又は外国人登録原票に記載され、引き続き在住し、第3子以上の子を出生し、その子を養育している父母					
※第3子以降1子につき300,000円(一部改正：H22.4.1施行)					

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 支援金支給状況

支援金は市が発行する金券により支給した。

区分	平成22年度			平成21年度		
	支援単位(円)	対象者(人)	支援額(円)	支援単位(円)	対象者(人)	支援額(円)
第3子	300,000	115	34,500,000	300,000	108	32,400,000
第4子		12	3,600,000	400,000	10	4,000,000
第5子		2	600,000	500,000	4	2,000,000
第6子		0	0	1,000,000	1	1,000,000
第7子		0	0	1,000,000	0	0
第10子		0	0	1,000,000	0	0
合計		129	38,700,000		123	39,400,000

(2) 特定不妊治療費助成事業

少子化対策の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

平成22年9月治療分から助成を拡大し、助成限度額を撤廃し、自己負担分を全額助成した。

区 分	平成22年度	平成21年度
申請件数	65件	41件
交付決定件数	63件	39件
市助成総額	11,294,966円	4,340,556円

(3) 育児サポーター派遣事業

子育て支援の一環として、就学前の子どもがいる出産前の母親、出産後180日以内の母親の家庭へ訪問による育児相談・援助を行い、子育て家庭が安心して生活を営むことができるよう支援に努めた。

育児サポーター派遣状況

区 分	平成22年度	平成21年度
利用者数	148人	101人
派遣時間数	1,753.2時間	1,442.0時間

年 度	派遣回数	派遣内容（重複あり） (回)							計
		育児に関する相談・助言	授乳	おむつ取替え	沐浴	遊び	散歩	その他（母不在時の乳児の見守りなど）	
平成22年度	964	858	137	491	51	846	175	703	3,261
平成21年度	784	749	133	428	51	651	149	467	2,628

2 次世代育成支援対策事業

(1) 島田市子育て支援ネットワークフェア等企画運営事業

市内の地域子育て支援団体の活動について広く市民に周知し、子育て中の親子に情報提供を行った。

委託費：2,000,000円

委託先：島田市子育て支援ネットワーク

委託内容：運営委員会、情報交換会

子育て支援ネットワークフェア（会場：夢づくり会館 参加人数：2,000人）

鈴木光司講演会（会場：夢づくり会館 参加人数：150人）

(2) 情報誌連動型子育て支援ポータルサイト構築運営事業

子育て支援専用のポータルサイトを作成し、子育て支援団体等のイベント情報を集約のうえ毎月発行している子

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明																	
	育てカレンダーと同等の情報をインターネットで簡単に閲覧できるようにした。 委託費：1,827,000円 委託先：(株)テクノサイト																	
3 緊急雇用創出事業	国の緊急雇用創出事業臨時特例対策補助金を活用し、育児サポーター派遣事業の拡充を行った。 拡充内容：就学前の子どもと同居している妊娠中の母親を対象として加えた。また、世帯の状況に関わらずサポーターの派遣ができるようにした。 雇用人数：5名 雇用期間：平成22年8月～平成23年3月																	
8目 子育て応援プレミアム金券発行事業費	決算額	91,145,418円																
1 子育て応援プレミアム金券発行事業費【平成22年度新規事業】	子ども手当受給者に対して、5%のプレミアムをつけた金券（5%のうち、2%は市の負担とし、3%は加盟店負担）を発行し、子育て家庭の経済的支援を推進した。 対象者：子ども手当受給者 発行金券：一口10,000円（1,000円券で10枚綴）の金券を9,500円で随時販売 金券の有効期限は、発行日から半年（期限の延長はしない。） 従来の金券とは別デザインとした。 販売場所：本庁児童課、金谷北支所・金谷南支所・川根支所の地域総合課																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売枚数（枚）</td> <td>90,650</td> </tr> <tr> <td>販売セット数（セット）</td> <td>9,065</td> </tr> <tr> <td>販売金額（円）</td> <td>86,117,500</td> </tr> <tr> <td>延べ利用人数（人）</td> <td>1,951</td> </tr> <tr> <td>回収率（%）</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>商店負担額（円）</td> <td>2,719,500</td> </tr> <tr> <td>市負担額（円）</td> <td>1,813,000</td> </tr> </tbody> </table>		年度	平成22年度	販売枚数（枚）	90,650	販売セット数（セット）	9,065	販売金額（円）	86,117,500	延べ利用人数（人）	1,951	回収率（%）	68	商店負担額（円）	2,719,500	市負担額（円）	1,813,000
年度	平成22年度																	
販売枚数（枚）	90,650																	
販売セット数（セット）	9,065																	
販売金額（円）	86,117,500																	
延べ利用人数（人）	1,951																	
回収率（%）	68																	
商店負担額（円）	2,719,500																	
市負担額（円）	1,813,000																	
2 緊急雇用創出事業	(1) 子育て応援プレミアム金券発行事務補助事業 内 容：子育て応援プレミアム金券の販売、換金処理等の事務補助 雇用期間・人数：平成22年7月12日から平成23年3月31日まで 2人 平成22年7月12日から平成22年12月31日まで 1人																	
3項 生活保護費	決算額	384,159,806円																
1目 生活保護総務費	決算額	27,759,562円																
1 行旅病人・死亡人等対策事業	(1) 低所得者法外援護 生活保護制度に該当しない生活困窮者に支援を行った。																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件 数(件)</th> <th>金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成22年度</td> <td>17</td> <td>510,525</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>31</td> <td>1,014,582</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	件 数(件)	金 額(円)	平成22年度	17	510,525	平成21年度	31	1,014,582							
区 分	件 数(件)	金 額(円)																
平成22年度	17	510,525																
平成21年度	31	1,014,582																

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
(2) 行旅病人・死亡人の状況			
区 分	行旅病人(件)	行旅死亡人(件)	金 額(円)
平成22年度	3	0	113,140
平成21年度	9	0	218,240

2目 扶助費 決算額 356,400,244円

1 生活保護扶助費

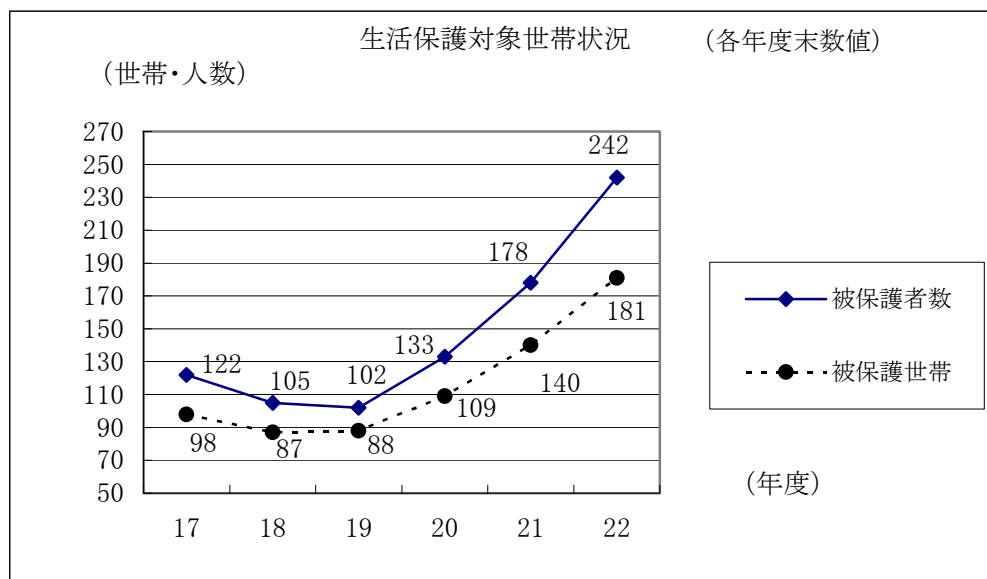
(1) 生活保護世帯状況

減少傾向にあった保護世帯数は、今般の雇用情勢の悪化等により大幅な増加に転じている。世帯類型別では、高齢者・母子・その他世帯の増加が際立っている。

生活保護世帯類型別内訳 (単位：世帯)

区 分	平成22年度末	平成21年度末
高齢者世帯	74	58
母子世帯	7	3
傷病障害者世帯	63	60
その他世帯	36	19
合 計	※ 180	140

※ 保護停止中の1世帯を除く



(2) 扶助費別支給状況

医療扶助費が扶助費全体の50%以上を占めている。

区 分	平成22年度		平成21年度	
	支給額(円)	構成率(%)	支給額(円)	構成率(%)
生活扶助費	93,828,574	26.8	62,818,990	25.0
住宅扶助費	40,880,175	11.7	26,474,746	10.6
教育扶助費	1,531,410	0.4	869,668	0.3
医療扶助費	183,578,906	52.5	133,459,556	53.2

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

介護扶助費	8,620,014	2.5	6,900,472	2.8
その他扶助費	1,245,689	0.3	885,486	0.4
施設事務費	20,155,276	5.8	19,386,610	7.7
計	349,840,044	100.0	250,795,528	100.0

※その他扶助費は生業扶助費、葬祭扶助費の計

2 中国残留邦人生活支援給付金

平成20年4月1日からの「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律」の施行により科目を新設し、支援給付金を支給している。なお、平成19年度以前は生活保護法に準じ生活保護扶助費に計上していた。

(1) 生活支援給付世帯状況

区 分	平成22年度末	平成21年度末
世帯数	3	3
人 員	5	5

※帰国年 平成10年…2人、平成11年…3人

(2) 生活支援給付扶助費支給状況

区 分	平成22年度		平成21年度	
	支給額(円)	構成率(%)	支給額(円)	構成率(%)
生活扶助費	3,287,080	50.1	3,287,080	46.8
住宅扶助費	613,200	9.3	613,200	8.7
教育扶助費	0	0.0	0	0.0
医療扶助費	2,659,920	40.6	3,129,910	44.5
介護扶助費	0	0.0	0	0.0
その他扶助費	0	0.0	0	0.0
施設事務費	0	0.0	0	0.0
計	6,560,200	100.0	7,030,190	100.0

※ その他扶助費は生業扶助費、葬祭扶助費の計

4項 医療福祉費	決算額	507,331,848円
----------	-----	--------------

2目 老人保健費	決算額	53,950円
----------	-----	---------

1 老人保健医療事業特別会計繰出金

繰出金の状況 (単位：円)

繰出額	0
法定負担額	△7,379
不足額(翌年度精算)	△7,379

3目 重度心身障害者医療費助成費	決算額	157,623,421円
------------------	-----	--------------

1 重度心身障害者医療扶助費

心身に重度の障害がある人の療育の推進と経済的負担の軽減を図った。

対象者 2,291人 40,329件

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

医療費助成状況

	平成22年度			平成21年度		
	対象(人)	件数(件)	金額(円)	対象(人)	件数(件)	金額(円)
特別児童扶養手当 1級	24	397	1,561,162	24	388	1,686,513
特別児童扶養手当 2級	56	599	1,339,852	55	557	1,563,920
療育手帳 A	199	3,149	9,280,515	196	3,122	10,224,231
療育手帳 B	305	3,228	10,297,305	272	3,112	9,104,195
身体障害者手帳 1・2級	1,551	30,690	125,330,149	1,428	29,822	122,544,390
身体障害者手帳 内部障害3級	156	2,266	9,481,908	157	2,285	10,513,329
計	2,291	40,329	157,290,891	2,132	39,286	155,636,578

人工透析通院交通費助成状況

区 分	対象人数(人)	金額(円)
平成22年度	4	317,310
平成21年度	4	359,900

※決算額との差額15,220円については重複支給のため返戻後、重度心身障害者医療費助成金返戻金に収入した。

4目 こども医療費助成費 決算額 253,429,392円

1 こども医療扶助費

乳幼児及び中学3年生までの児童の医療費の一部を助成することにより、乳幼児等の健全な育成に寄与し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。また、平成22年10月1日から、中学生の通院及び小中学生の入院まで助成対象を拡大した。

こども医療費助成状況

区 分	入院		通院		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
平成22年度	1,212	55,325,007	164,233	198,104,385	165,445	253,429,392
平成21年度	1,046	47,130,764	150,489	178,782,684	151,535	225,913,448
増減	166	8,194,243	13,744	19,321,701	13,910	27,515,944

5目 精神障害者医療費助成費 決算額 18,461,902円

1 精神障害者医療扶助費

精神障害のある人の入院医療費の半額を助成することにより、経済的負担の軽減を図った。

(市単独事業) 対象者数 149人

年 度	件 数(件)	金 額(円)
平成22年度	1,118	18,461,902
平成21年度	1,100	17,825,310

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
6目 母子家庭等医療費 助成費	決算額 16,812,047円					
1 母子家庭等医療扶助費	母子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、母子家庭等の経済的負担の軽減を図った。					
	母子家庭等医療費助成状況					
	年度	区分	対象(人) 3月末	件数(件)	金額(円)	
	平成22年度	母子家庭	1,159	7,197	16,041,599	
		父子家庭	43	224	684,468	
		上記以外	11	37	85,980	
		計	1,213	7,458	16,812,047	
	平成21年度	母子家庭	1,025	7,353	16,344,643	
		父子家庭	31	188	477,809	
		上記以外	11	61	125,680	
		計	1,067	7,602	16,948,132	
5項 災害救助費	決算額 960円					
1目 災害救助費	決算額 960円					
1 災害援護経費	住居が火災にあった世帯に対し、見舞金を交付するが、平成22年度は対象となる住宅火災がなく、見舞金の交付実績がなかった。					
	区分	全 焼	半 焼	部分焼	死 亡	見舞金交付額
	平成22年度	0件	0件	0件	0件	0円
	平成21年度	4件	2件	0件	0件	260,000円

4 款

衛 生 費

1 項 保健衛生費

2 項 清掃費

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
4款 衛生費	決算額 3,382,810,729円
1項 保健衛生費	決算額 1,870,807,911円
1目 保健衛生総務費	決算額 226,076,670円

1 保健衛生事務費

(1) かかりつけ手帳作成事業費補助金【平成22年度新規事業】

処方される薬及びアレルギーの把握、薬の併用による弊害防止などの対応のため、島田薬剤師会、社団法人島田市医師会、社団法人島田市歯科医師会がかかりつけ手帳の作成をした。平成22年度、市は、かかりつけ手帳作成事業のとりまとめをしている社団法人島田市医師会へ補助金を交付した。(単位：円、部)

事業費	補助金額	補助率	作成部数	配布先
3,929,310	1,900,000	1/2以内	44,000	市内の医療機関、薬局

2 救急医療事業

(1) 救急医療協力促進事業

一般医療機関の診察が終了した後、志太・榛原地域救急医療センターが診療を開始するまでの時間帯（概ね午後5時00分から午後7時00分まで）の医療について、在宅通知制により確保を図った。また、休日急患診療所、休日当直医及び志太・榛原救急医療センターへの医師派遣により、休日・夜間の初期救急医療の確保を図った。

島田地区：(社)島田市医師会への委託（42医療機関）

金谷・川根地区：(社)榛原医師会への間接委託（11医療機関）

(榛原圏域の構成市町を代表して、牧之原市が(社)榛原医師会と委託契約)

診療件数

(単位：件)

区 分	島田地区 (在宅通知制)		金谷・川根地区 (休日当直医)	
	平成22年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度
内科・胃腸科	190	248	270	336
整形外科・外科	169	185	68	75
小 児 科	308	858	131	154
そ の 他	232	347	110	156
計	899	1,638	579	721

(2) 志太・榛原地域救急医療センター運営費等負担金

志太・榛原地域における、第1次救急医療体制の確保を図った。

平成22年度負担金 5,397,000円（運営費 3,823,000円／協会負担金1,574,000円）

平成21年度負担金 9,182,000円（運営費 7,551,000円／協会負担金1,631,000円）

志太・榛原地域救急医療センター利用患者数（単位：人）

区 分	平成22年度	平成21年度
総 利 用 者	6,352	8,633
島田市（再掲）	1,265	1,641

(3) 第2次救急医療施設運営費負担金

志太・榛原地域において、重症患者を対象とする第2次救急医療体制の確保を図った。

平成22年度負担金 4,412,648円

平成21年度負担金 4,900,726円

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

第2次救急医療施設公立病院来院者数 (単位：人)

区 分		平成22年度			平成21年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計
初期 救急 から 転送	救急車	144	50	194	128	119	247
	その他	377	415	792	391	607	998
	計	521	465	986	519	726	1,245
そ の 他	救急車	962	1,581	2,543	1,011	2,052	3,063
	その他	1,429	10,039	11,468	1,231	10,514	11,745
	計	2,391	11,620	14,011	2,242	12,566	14,808
合 計		2,912	12,085	14,997	2,761	13,292	16,053

(4) 休日歯科診療事業

年未年始（島田地区は12月30日～1月3日の5日間、榛原地区は12月31日～1月3日の4日間）の歯科医療機関の休業日に、島田市歯科医師会及び榛原歯科医師会の当番医が当該診療所において午前中診療を行った。

(単位：日、人)

区 分	平成22年度		平成21年度	
	島田地区	榛原地区	島田地区	榛原地区
診療日数	5	4(1)	5	4(2)
患者数	25	24(11)	23	11(4)

※括弧内は、金谷・川根地区での開催日数及び患者数

3 健康づくり事業

(1) 保健委員活動支援事業

市民の健康づくり意識の高揚を図る活動、自己啓発のための研修など、保健委員が行う活動を支援した。

保健委員数：77人 任期：2年

活動内容

(単位：回、人)

分 類	内 容	平成22年度		平成21年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数
全体活動	胸部検診、健康まつり	58	9,340	53	9,074
地区活動	地域健康まつり、親子料理教室、保健講座、健康体操、救急蘇生法講習会等	93	5,826	87	4,024
研修会	自己啓発のための研修	5	233	5	204
その他	町内回覧文書による健康づくり広報活動等	随時		随時	

(2) 健康まつり事業

講演会を開催して、市民の健康づくりに対する意識の高揚を図った。

なお、平成22年度は、おおるいホールにて講演会を行い、展示ホールで、健康体験・展示等を実施した。

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明		
(単位：人)				
行 事 名	平成22年度			平成21年度
	実施日	内 容	参加人数	参加人数
健康まつり	平成22.10.3	生き生き万年青表彰 健康づくり功労表彰 講演会 「うつは食べ物の原因だった」 心療内科医 溝口徹先生 体験コーナー、具だくさん島田汁普及啓発 やにけん（タバコ危険度チェック）、骨密度測定 乳がんモデル展示、ストレス度チェック 歯みるん検査（歯周疾患検査） 健康に関する展示コーナー	875	211
歯の市民フェスティバル	平成22.6.6	セレモニー、8020コンクール、歯科健診、歯科相談、 ブラッシング指導、図画・ポスター作品展、 咬合圧測定、顕微鏡細菌観察、フッ素洗口、スーパーボールすくい、紙芝居、口臭チェック 手作りおやつ配布	900	700
市民健康ウォーク	4月～翌2月	日本平と県立美術館ウォーク、菊川周辺ウォーク、 安倍川駅～丸子ウォーク、阿知ヶ谷アルプスウォーク（健康まつり）、 金谷方面ウォーク、初倉方面ウォーク、フリー切符川根方面ウォーク	404	430

(3) すこやか戦略推進事業

心と体の健康づくり事業の推進を図るため、市の資源である田代の郷温泉及び川根温泉を活用した健康づくり教室を開催した。平成22年度は田代の郷温泉において、初めてのヨガ教室・湯らつくす教室・太極拳教室・男性おすすめ簡単ヨガ教室を行い、川根温泉では入浴方法講座を実施した。

(単位：回、人)

実施場所	平成22年度			平成21年度		
	回数	実人員	延べ人数	回数	実人員	延べ人数
田代の郷温泉	45	101	276	50	77	694
川根温泉	2	25	25	4	25	25

(4) 食育推進事業

健康づくり食生活推進員及びグループの強化・充実を図るとともに、食育の推進及び生活習慣病の予防等健康づくりに資する食生活の普及活動を行った。

健康づくり食生活推進員：197人 7グループ（平成23年3月31日現在）

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

活動内容 (単位：回、人)

区 分	平成22年度		平成21年度	
	回数	普及人数	回数	普及人数
母子の健康・貧血予防	211	1,683	187	1,010
生活習慣病予防・健康増進	341	7,711	349	2,887
高齢者の健康・食事の支援 福祉活動	995	5,452	655	4,714
ヘルスサポーター (H22より 重点プロジェクト事業へ)	2	43	12	20
計	1,549	14,889	1,203	8,631

4 歯科保健事業

(1) フッ素応用歯科保健普及事業

満4歳の幼児から中学3年生までの児童を対象に市内の園（保育園、幼稚園）、学校（小学校、中学校）、センター（保健福祉センター、公民館等）においてフッ素洗口法を実施するとともに、1歳6か月から4歳未満の幼児を対象にフッ素塗布を実施した。

ア フッ素洗口事業

(単位：ヶ所、人、回)

区 分	平成22年度			平成21年度		
	園	学校	センター	園	学校	センター
施設数	18	6	4	15	6	4
延べ人数	96,104	22,927	14,191	73,895	22,695	15,412
延べ回数	1,644	214	192	2,160	203	186

イ フッ素塗布事業

(単位：回、人)

区 分	平成22年度	平成21年度
回数	48	48
延べ人数	3,180	2,840

ウ 歯科健診・相談事業

保健福祉センター、公民館等でフッ素洗口を実施した者に対し、歯科検診を行うとともに、口腔衛生への関心を高める相談事業を実施した。平成22年度は、園におけるフッ素洗口実施者の増加に伴い、センターでの実施回数を減らした。

(単位：回、人)

区 分	平成22年度	平成21年度
回数	2	8
実施人数	150	362

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明		
(2) 訪問歯科診療		寝たきり者等に対し訪問歯科診療を行い、歯（口腔）の状態及び全身の健康状態の改善を図った。		
		(単位：人、件)		
		区 分	平成22年度	平成21年度
申 込 者 数		実人員	95	106
		延人員	345	394
診療内容 (重複該当あり)	義歯	調整・修理	128	129
		新製	25	53
	保存充填処置		17	6
	歯周疾患処置(歯石除去等)		7	23
	抜歯等外科処置		8	7
	口腔清掃(ブラッシング指導)		1	1
	その他		20	24
5 地域自殺対策緊急強化交付金事業				
(1) 自殺対策会議				
会議：2回開催（9月、2月）				
委員：(社)島田市医師会医師1人、(社)榛原医師会医師1人、薬剤師会1人、民生委員児童委員1人、静岡福祉大学1人、市内事業所関係者1人、学校教育課長、市民安全課長、福祉課長、健康づくり課長 〈オブザーバー〉 中部健康福祉センター障害福祉課保健師				
(2) 普及啓発グッズの作成、配布				
市内の作業所等で啓発グッズを作成し、イベントや市民が利用する様々な窓口で啓発グッズを配布することで「睡眠キャンペーン」の周知を図った。また、PR車両用マグネットを作成し、公用車への貼付を実施、のぼり旗作成、FM島田及び広報においても普及啓発活動を実施した。				
作成数		(単位：個)		配付場所・配付数
				(単位：個)
作業所等	平成22年度	平成21年度	配布場所	平成22年度
				平成21年度
コスモス	700	2,200	成人式	1,100
ドレミ	250	920	婦人科集団検診	1,200
うたしあ	400	1,200	各健康教育	2,740
希望の家	350	1,000	市役所窓口等	3,530
駿遠学園	300	1,500	保健福祉センター窓口	1,120
なのはな作業所	—	20,000	3歳児健診	960
			市内精神科・薬局	6,450
			その他	1,900
2目 母子保健衛生費		決算額 80,559,782円		
1 母子健康診査事業				
(1) 妊婦健康診査事業				
妊婦の健康保持及び乳児の健全な発育、発達を図るため、医療機関への委託により健康診査を行った。平成21年度から妊婦健康診査は14回に増え、超音波健診は4回、血液検査は1回にそれぞれ拡充された。				

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

(単位：枚、人)

区 分	平成22年度														
	回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回
受診券交付数	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812	812
受診人数	776	738	771	779	753	798	774	796	763	734	739	634	463	260	
受診率	95.6	90.9	95.0	95.9	92.7	98.3	95.3	98.0	94.0	90.4	91.0	78.1	57.0	32.0	

区 分	平成21年度													
	回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回
受診券交付数	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879	879
受診人数	842	787	771	783	708	748	715	731	698	672	648	596	488	310
受診率	95.8	89.5	87.7	89.1	80.6	85.1	81.3	83.2	79.4	76.5	73.7	67.8	55.5	35.3

(2) 乳児健康診査指導事業

ア 4か月児及び10か月児健康診査

(単位：人、%)

区 分	平成22年度		平成21年度	
	4か月児健康診査	10か月児健康診査	4か月児健康診査	10か月児健康診査
対象児数	809	800	784	839
受診児数	808	738	788	799
受診率	99.9	92.3	100.5	95.2

※平成21年度4か月児健康診査の受診率が100%を超えているのは、平成20年度未受診者が平成21年度に受診したためである。

イ 母子保健相談指導事業

疾病予防・しつけ等の全般的育児支援や育児不安の軽減などの精神的な支援を行い、母子の健康の保持と健全な発達・発育の支援に努めた。

(ア) 赤ちゃん訪問

(単位：人)

区 分	平成22年度	平成21年度
訪問対象者	833	810
訪問人数	809	790
訪問実施率	97.1%	97.5%

(イ) 離乳食講習会

(単位：人)

区 分	平成22年度	平成21年度
参加人数	422	400

(ウ) 7か月児相談(年：24回実施)

(単位：人、%)

区 分	平成22年度	平成21年度
対象者数	832	821
受診者数	826	809
受診率	99.3	98.5

※離乳食相談も同時に実施した。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(3) 幼児健康診査事業

健康診査や育児指導を実施して、幼児の健康保持・増進と障害を持つ幼児の早期発見に努めるなど、育児支援の充実を図った。

幼児健康診査・歯科健診

(単位：人、%)

区 分		平成22年度		平成21年度	
		1歳6か月児	3歳児	1歳6か月児	3歳児
対象児数		814	934	911	839
受診児数		801	901	911	835
受診率		98.4	96.5	100.0	99.5
健診 結果	正常範囲	400	512	471	416
	身体要注意	130	183	82	136
	発達要注意	271	206	358	283
	う歯のある者	10	138	15	172
	咬合異常	29	80	38	37

2 育児支援事業

(1) 育児支援事業

妊娠中から疾病予防、しつけ等の全般的な指導を行うことにより、母子の健康の保持と健全な発達・発育の支援に努めた。

(単位：回、人)

区 分	平成22年度		平成21年度	
	回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数
いきいきママ教室	16	377	16	342

(2) 乳幼児健全発達支援相談指導事業

精神・運動面や、養育環境に問題がある乳幼児の発達支援を図る療育教室や、育児ストレスを抱えている母親（保護者）の不安を軽減する虐待予防教室を実施した。つくしんぼは対象者の増加により、平成22年度は2グループに分け各グループ隔週実施とした。

(単位：回、人)

区 分	平成22年度		平成21年度	
	回数	延べ出席人数	回数	延べ出席人数
つくしんぼ(親子学習会)	42	645	41	1,147
いきいきっ子教室	12	113	12	169
のびのびっ子教室	12	132	12	108

3目 感染症予防費

決算額

163,060,402円

1 予防接種事業

(1) 集団接種事業・個別接種事業

伝染のおそれがある疾病の発生とまん延を予防するため、予防接種を行った。

日本脳炎予防接種は副反応により平成17年6月以降積極的勧奨を休止していたが、平成21年6月から希望者は新ワクチンによる接種が可能になり、平成22年度は3・4歳児に限って積極的勧奨を再開した。

MR混合予防接種は、平成20年4月から5年間時限措置で対象者を拡大している。

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ア 集団接種 (単位：人、%)

区 分	年 度	対象者数	実施者数	実施率
BCG	平成22年度	833	837	100.5
	平成21年度	790	782	99.0
ポリオ	平成22年度	1,572	1,610	102.4
	平成21年度	1,924	1,727	89.8

イ 個別接種 (単位：人、%)

区 分	年 度	対象者数	実施者数	実施率
三種混合	平成22年度	3,268	3,383	103.5
	平成21年度	3,748	3,435	91.6
二種混合（1期）	平成22年度	—	3	—
	平成21年度	—	0	—
二種混合	平成22年度	991	923	93.1
	平成21年度	991	822	82.9
麻しん単独	平成22年度	—	0	—
	平成21年度	—	1	—
風しん単独	平成22年度	—	0	—
	平成21年度	—	2	—
MR（麻しん・風しん） 混合	平成22年度	3,731	3,585	96.1
	平成21年度	3,765	3,448	91.6
日本脳炎 1期初回 （2回完了者）	平成22年度	1,784	1,577	88.4
	平成21年度	—	(76)	—
日本脳炎 1期追加	平成22年度	—	(135)	—
	平成21年度	—	(36)	—
日本脳炎 2期	平成22年度	—	(54)	—
	平成21年度	—	—	—
インフルエンザ	平成22年度	25,960	14,059	54.2
	平成21年度	25,967	12,723	48.9

*日本脳炎の平成21年度の1期及び平成22年度1期追加と2期は積極的勧奨対象ではないため、対象者は未記入

(2) 新型インフルエンザ(A/H1N1)対策事業

国民の大多数に免疫がないことから、国のワクチン接種実施要綱等に基づき任意接種を行い、生活保護世帯等の市民に対し費用負担軽減措置を実施した。

ア 新型インフルエンザワクチン予防接種助成

(ア) 接種者数（平成23年3月31日現在） (単位：人、%)

区 分	対象者数	接種者数	接種率
新型インフルエンザ	102,030	37,937	37.2

※対象者数は平成22年10月人口

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(イ) 助成金交付 (生活保護者・市民税非課税世帯の者)		(単位：人、円)		
区 分	交付者数	助成額 (上限額)	合 計	
新型インフルエンザ	2回接種	37	6,150	2,369,904
	1回接種	506	3,600	
イ 新型インフルエンザ対策備蓄品				
強毒性インフルエンザ対策として、N95マスク・サージカルマスク・防護服・手袋・消毒薬等の備蓄をしている。				
平成22年度は新型インフルエンザの感染防止のため感染予防を呼びかけ、消毒薬の設置とサージカルマスクを全戸に配付 (世帯当たり3枚) した。				
備蓄品		(単位：枚、個)		
区 分	前年度末在庫数	配布数	在庫数	備 考
N95マスク	25,800	0	25,800	病院・消防署・一般職員用2週間分
サージカルマスク	385,970	98,814	287,156	大人用 278,156枚 子供用 9,000枚 (病院・消防署・一般職員用2週間分含む)
防護服	7,673	0	7,673	病院・消防署・一般職員用2週間分
アイソレーションガウン	5,600	0	5,600	
ゴーグル	4,445	0	4,445	
シューズカバー	16,000	0	16,000	
手袋	560,000	0	560,000	
ペーパータオル	1,500	0	1,500	
消毒薬	5,674	0	5,674	
石鹸	200	0	200	
4目 保健推進費	決算額 103,346,822円			
1 生活習慣病対策事業				
(1) 健康推進事業				
ア 健康手帳交付事業				
市民の健康に関する自己管理意識を高めるため、検診結果等の健康保持に必要な事項を記録する健康手帳を交付した。				
(単位：冊)				
区 分	平成22年度	平成21年度		
後期高齢者医療対象者への交付	192	306		
上記以外への交付	1,242	1,808		
イ 健康教育事業				
「自らの健康は自ら守る」という自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に資するため、生活習慣病予防・健康増進等健康に対する正しい知識の普及を図った。				

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

(単位：回、人)

区 分	平成22年度		平成21年度	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数
健康増進重点プロジェクト事業	2	43	—	—
ヘルシー料理教室	8	155	8	179
歯科保健講座	17	221	3	64
町内別健康講座	5	130	10	332
その他	47	1,848	38	1,546
計	79	2,397	59	2,121

ウ 健康相談事業

健康相談により、疾病予防及び健康増進を図った。

(単位：回、人)

区 分		平成22年度		平成21年度	
		回数	延べ人数	回数	延べ人数
健康の日健康相談	島田	12	415	12	509
	金谷	12	48	12	47
	川根	12	53	12	32
総合健康相談		243	2,285	242	1,929
食生活相談		135	178	180	389
その他の健康相談		18	1,287	5	369
計		432	4,266	463	3,275

(2) 機能回復室開放

保健福祉センターの機能回復室を開放し、病気やけが、老化等で体の機能が低下した人が自主的に運動器具で運動できる日を毎週水曜日の午後に設けた。

(単位：回、人)

区 分	回数	参加実人数	延べ人数
平成22年度	47	31	689
平成21年度	48	33	743

(3) 訪問指導事業

保健師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士等が、メタボリックシンドロームや高齢で寝たきり又はそのおそれのある市民を対象に、日常生活指導、栄養指導、口腔の指導を行い、生活習慣病予防や生活の質(QOL)の向上に努めた。

(単位：人)

区 分		平成22年度	平成21年度
訪問 人数	実人数	51	53
	延べ人数	76	63
口腔衛生指導		23	4
栄養指導		16	5

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(4) 健康増進法等の健康診査事業

がん・歯周疾患・C型肝炎等の疾病の早期発見のため、健康増進法に定められた各健康診査等を実施した。

ア がん検診

40歳以上の人を対象に胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、30歳以上で偶数年齢の女性を対象に乳がん検診（視触診とマンモグラフィ併用）、20歳以上の女性を対象に子宮頸がん検診、50歳以上の男性を対象に前立腺がん検診を実施した。

(単位：人、%)

種 別	実施年度	推計対象者数	受診者数	うち、2年連続の受診者数	受診率
乳がん検診	平成22年度	19,660	3,677	545	34.3
	平成21年度		3,604	427	30.8
子宮頸がん検診	平成22年度	21,117	5,097	—	24.1
	平成21年度		4,878	—	23.1
胃がん検診	平成22年度	28,112	4,130	—	14.7
	平成21年度		4,110	—	14.6
肺がん検診	平成22年度	28,112	12,449	—	44.3
	平成21年度		12,748	—	45.3
大腸がん検診	平成22年度	28,112	6,811	—	24.2
	平成21年度		6,664	—	23.7
前立腺がん検診	平成22年度	10,128	2,560	—	25.3
	平成21年度		2,405	—	23.7

※ 乳がん検診は2年に1回の実施であるため、直近2年間の実受診者数により受診率を算出する。

イ がん検診精密検査（二次検診）受診勧奨

前年度中に実施した胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診などの精密検査について継続した受診勧奨を行い、精密検査受診率向上を図った。

(単位：人)

健康増進法 がん検診 種別	精検受診勧 奨実施年度	一次検診			翌年度末までに実施した精密検査（二次検診）の結果					
		実施年度	受診者数	精密検査対象者数	異常を認めず	がん	異形成	がんの疑い	がん以外の疾患	未受診未把握
乳がん	平成22年度	平成21年度	3,148	189	76	7	—	8	92	6
	平成21年度	平成20年度	2,429	230	78	8	—	1	109	34
子宮頸がん	平成22年度	平成21年度	4,878	36	2	2	24	0	3	5
	平成21年度	平成20年度	4,137	17	3	0	8	1	4	1
胃がん	平成22年度	平成21年度	4,110	186	19	5	—	0	136	26
	平成21年度	平成20年度	4,188	480	77	4	—	1	317	81
肺がん	平成22年度	平成21年度	12,748	258	61	6	—	13	162	16
	平成21年度	平成20年度	12,728	251	48	10	—	6	170	17
大腸がん	平成22年度	平成21年度	6,664	443	82	14	—	12	217	118
	平成21年度	平成20年度	6,534	454	96	10	—	7	228	113

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 歯周疾患検診事業

歯周疾患の早期発見、早期治療及び予防意識の高揚を目的に、40歳・50歳・60歳・70歳の市民を対象に歯周疾患検診を実施した。
(単位：人、%)

区 分	対象者数	受診者数	受診率	異常なし	要指導	要精検
平成22年度	4,158	257	6.2	8	21	228
平成21年度	4,300	278	6.5	9	31	238

エ 骨粗鬆症^{ししょう}検診事業

骨粗鬆症の早期発見、予防意識の高揚を目的に、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施した。
(単位：人、%)

区 分	対象者数	受診者数	受診率	異常なし	要指導	要精検
平成22年度	4,904	339	6.9	261	51	27
平成21年度	4,904	407	8.3	288	35	84

オ 肝炎ウイルス検診事業

40歳の人、41歳以上の未受診者または肝機能に異常がある人を対象に肝炎ウイルス検診を実施した。

(単位：人、%)

検 診 C型 肝炎ウイルス	対象者数	受診者数	受診率	検査結果別人数					要精検者数	精密検査の結果					
				高力価(陽性)	中力価		低力価(陰性)	陰性		異常認めず	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	その他	未把握
					陽性	陰性									
平成22年度	1,348	260	19.3	0	0	0	1	259	0	—	—	—	—	—	—
平成21年度	1,379	259	18.8	0	0	0	0	259	0	—	—	—	—	—	—

(単位：人、%)

検 診 B型 肝炎ウイルス	対象者数	受診者数	受診率	検査結果別人数		要精検者数	精密検査の結果						
				陽性	陰性		異常認めず	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	その他	未把握	
平成22年度	1,348	260	19.3	1	259	1	0	0	0	0	0	0	1
平成21年度	1,379	259	18.8	1	258	1	0	0	0	0	0	0	1

2 女性特有のがん検診推進事業

(1) 女性特有のがん検診推進事業

健康増進法に定められたがん検診のうち、特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんの知識啓発のための検診手帳を送付し、女性特有のがん検診受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及と啓発を図った(国庫補助対象事業)。

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明				
子宮頸がん検診		(単位：人)				
区 分	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	合計
配布対象者数	546	534	599	687	648	3,014
受診者数	24	62	118	189	173	566
乳がん検診		(単位：人)				
区 分	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	合計
配布対象者数	648	648	624	693	933	3,546
受診者数	160	173	138	182	211	864
3 重点雇用創出事業【平成22年度新規事業】						
(1) がん検診等希望登録調査事業						
検診受診率と検診利便性を向上させるため検診実施形態を改善し、それに即した市民の受診希望の調査を行った。						
実施期間 平成23年1月から平成23年3月まで						
雇用人数 1人						
希望登録アンケート結果状況						(単位：人)
区 分	個別検診	地区まわり 集団検診	島田地区 婦人科検診	総合がん検診	国保総合健診	受診しない
胃がん	-	4,570	-	4,747	728	10,563
大腸がん	-	6,170	-	5,797	814	9,226
胸部(肺・結核)	-	11,565	-	6,999	837	9,091
前立腺がん	2,990	-	-	1,593	433	3,314
子宮頸がん	3,078	-	4,004	3,249	306	5,646
乳がん	3,167	-	3,487	3,207	351	4,395
5目 環境衛生費		決算額 160,517,060円				
1 環境保全事業						
(1) 河川等清掃事業						
市内一斉川ざらいは、住民参加の環境美化活動として、町内会が主体となり各町内会で作業できる範囲の河川、水路、側溝等を清掃し、市はこうした清掃により発生した土砂の運搬に関する事等について支援した。事業も継続し実施しているため、住民の自主的な取組による清潔で住み良い環境の保全及び公衆衛生の向上が図られ、「我が地域は我が手で住み良い環境にする」という住民の姿勢、意識が定着している。						
実施日	実施町内 及び参加者	市指定土のう 袋置場箇所数	町内指定 土のう袋 置場箇所数	最終処分場 土砂搬入量		
島田地区 平成22年4月3・4日 金谷地区 平成22年4月4日 川根地区 平成22年5月30日	各町内会と事業所 市民約20,000人	7か所 (大井川河川敷) 78町内と事業所 が搬入	110か所 (36町内)	約752t		
(2) 合併処理浄化槽設置補助金						
生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する者に対し、補助金を交付した。また、くらしのフェア等において合併処理浄化槽の維持管理の方法や生活排水の現状など、生活排水処理についてのPRを行った。						

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

年度	5人槽 (件)	7人槽 (件)	10人槽 (件)	計 (件)	金 額 (円)
22	229 (3)	145 (12)	34 (1)	408 (16)	補助金交付額 137,922,000 (財源内訳) 国 44,709,000 県 19,476,000 市 73,737,000
21	215 (7)	155 (15)	32 (2)	402 (24)	補助金交付額 137,053,000 (財源内訳) 国 44,820,000 県 19,387,000 市 72,846,000
増減	14 (△4)	△10 (△3)	2 (△1)	6 (△8)	補助金交付額 869,000 (財源内訳) 国 △111,000 県 89,000 市 891,000

※下段括弧内は、単独槽から合併槽への付替え基数

2 家庭動物飼育指導事業

(1) 家庭動物飼育指導事業

ア 飼い犬適正飼育

狂犬病予防法の規定に基づき、犬の登録と狂犬病予防注射済票交付事務を行った。

犬の新規登録と狂犬病注射済票交付件数

区 分	事務内容	件数(頭)
平成22年度	新規登録	428
	注射済票交付	5,190
平成21年度	新規登録	448
	注射済票交付	4,939

犬の登録件数

区 分	登録件数(件)
平成22年度	6,179
平成21年度	6,220

イ 飼いねこ適正飼育

飼いねこ生殖機能処置に要する経費に対して、補助金交付事務を行った。

避妊去勢に対する補助金件数

区 分	件数(匹)
平成22年度	300
平成21年度	322

ねこの登録件数

区 分	登録件数 (匹)	死亡届 (匹)	年度末登録件数(匹)
平成22年度	412	73	6,122
平成21年度	449	30	5,783

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 家庭動物適正飼育の推進

犬・ねこのふん、放し飼い、鳴き声などの苦情を減らすため、飼い主に適正な飼い方を指導する動物ボランティア事業を実施した。

また、家庭で飼育している動物を譲りたい人と新しく飼いたい人との情報をつなぐ動物愛護の伝言板「ポッチとニャンチの愛の伝言板」により犬・ねこの新しい飼い主を募った。

動物ボランティア

動物ボランティア	活 動 内 容	実 施 日
20人	犬・ねこ飼育立入調査	11月18日 (大井町・宮川町)
	県主催動物愛護教室の犬とのふれあい体験	5月21日・7月5日・11月16日 11月19日・12月10日
	映画上映会「犬と猫と人間と」	9月23日
	FM島田放送出演 (犬ねこ適正飼育の呼び掛け)	5月19日・9月22日・10月27日・11月24日 12月22日・1月26日・2月23日・3月23日
	定例会 (事業打合せ、情報交換)	5月20日・7月15日・8月8日 1月29日

動物愛護の伝言板

設 置 日	設 置 場 所	平成22年度伝言板利用状況
平成16年11月10日	市役所 1階ロビー	犬 申込数 5頭・成立数 4頭
平成17年9月1日	金谷庁舎1階玄関前	ねこ 申込数 15匹・成立数 8匹

3 市営霊園整備準備経費

島田市営霊園を建設するにあたり、詳細測量設計業務委託を実施した。

事業名	事 業 費	委 託 先
詳細測量業務委託	1,197,000円	大鐘測量設計株式会社
詳細設計業務委託	3,625,650円	大鐘測量設計株式会社

6目 斎場費 決算額 72,317,847円

1 斎場管理運営事業

(1) 火葬炉等使用件数

(単位：件)

年 度	区 分	市 内			市 外			計		
		島田斎場	金谷斎場	合計	島田斎場	金谷斎場	合計	島田斎場	金谷斎場	合計
22年度	火葬炉	864	206	1,070	37	7	44	901	213	1,114
	特殊炉	853	0	853	204	0	204	1,057	0	1,057
	待合室	395	—	395	41	5	46	436	5	441
	計	2,112	206	2,318	282	12	294	2,394	218	2,612
21年度	火葬炉	875	216	1,091	26	7	33	901	223	1,124
	特殊炉	871	0	871	170	0	170	1,041	0	1,041
	待合室	427	—	427	20	6	26	447	6	453
	計	2,173	216	2,389	216	13	229	2,389	229	2,618

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
-------	---------------	--	--

(2) 告別式 (単位：件)

年度	市 内	市 外	計
22 年度	100	2	102
21 年度	106	1	107

(3) 火葬炉等使用料 (単位：円)

年度	区 分	市 内			市 外		
		島田斎場	金谷斎場	合計	島田斎場	金谷斎場	合計
22 年度	火葬炉	-	-	-	1,080,000	180,000	1,260,000
	特殊炉	2,568,300	-	2,568,300	1,605,480	-	1,605,480
	待合室	1,244,250	-	1,244,250	430,500	52,500	483,000
	計	3,812,550	-	3,812,550	3,115,980	232,500	3,348,480
21 年度	火葬炉	-	-	-	669,000	180,000	849,000
	特殊炉	2,664,900	-	2,664,900	1,337,900	-	1,337,900
	待合室	1,345,050	-	1,345,050	210,000	63,000	273,000
	計	4,009,950	-	4,009,950	2,216,900	243,000	2,459,900

年度	区 分	計		
		島田斎場	金谷斎場	合計
22 年度	火葬炉	1,080,000	180,000	1,260,000
	特殊炉	4,173,780	-	4,173,780
	待合室	1,674,750	52,500	1,727,250
	計	6,928,530	232,500	7,161,030
21 年度	火葬炉	669,000	180,000	849,000
	特殊炉	4,002,800	-	4,002,800
	待合室	1,555,050	63,000	1,618,050
	計	6,226,850	243,000	6,469,850

(4) 斎場修繕工事 (単位：円)

事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考
島田市斎場 台車ブロック交換及び再燃炉天井アーチ修繕工事	台車ブロック交換及び再燃炉天井アーチの焼損箇所の修繕	1,575,000 (財源内訳) 一般財源 1,575,000	需用費 1,575,000 (株宮本工業所)
島田市斎場 主燃バーナーコンバスター及びフレームコーン交換工事	主燃バーナーコンバスター及びフレームコーン交換の修繕 (2号炉・3号炉・特殊炉)	714,000 (財源内訳) 一般財源 714,000	需用費 714,000 (株宮本工業所)
島田市金谷斎場 台車ブロック交換工事	台車ブロック交換の修繕 (1号炉・2号炉)	997,500 (財源内訳) 一般財源 997,500	需用費 997,500 (株宮本工業所)
島田市金谷斎場 空調設備修繕工事	2階待合室空調設備の修繕	598,500 (財源内訳) 一般財源 598,500	需用費 598,500 (有牧野設備)

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明		
島田市金谷斎場 再燃炉側壁修繕 工事	再燃炉側壁の修繕 (1号炉・2号炉)	504,000 (財源内訳) 一般財源 504,000	需用費 504,000 (株)宮本工業所	
2 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業(繰越明許)				
(1) 斎場改修工事				
島田斎場及び金谷斎場の施設は経年劣化により雨漏りが発生したため、火葬業務に支障をきたさないよう防水 工事を実施した。(単位:円)				
事 業 名	事 業 の 概 要	事 業 費	備 考	
島田市斎場改修工 事	(繰越明許) 火葬棟外壁補修及び収骨室 南 屋上防水改修工事	3,935,400 (財源内訳) 国庫支出金 3,935,400	工事請負費 3,935,400 大河原建設(株)	
島田市金谷斎場改 修工事	(繰越明許) 機材室、収骨室及び待合室 屋上 防水改修工事	5,079,900 (財源内訳) 国庫支出金 5,079,900	工事請負費 5,079,900 (株)尾坂工務店	
7目 簡易水道費	決算額	44,227,000円		
1 簡易水道事業特別会計繰出金				
(1) 簡易水道事業特別会計繰出金 44,227,000円 簡易水道事業特別会計の資金不足を補填するため、繰出しを行った。				
8目 休日急患診療費	決算額	2,000,000円		
1 休日急患診療事業特別会計繰出金				
(1) 休日急患診療事業特別会計繰出金 2,000,000円				
9目 水道費	決算額	29,397,768円		
1 水道未普及地域解消事業 1,562,768円				
(1) 飲料水供給施設整備事業 1,375,000円				
施設名	事業内容	事業費(円)	補助率	補助金(円)
塩本	仕切弁取替	640,500	1/2以内	320,000
庄司	急速ろ過装置取替	421,050	1/2以内	210,000
峯	ろ過材補充	65,100	1/2以内	32,000
久野	水源取水管修繕	26,460	1/2以内	13,000
峯	導水管布設替ほか	1,600,000	1/2	800,000
計				1,375,000
(2) 飲料水供給施設管理運営事業 187,768円				
ア 需用費(医薬材料費) 79,800円				
イ 水質検査委託料 98,868円				
事業の概要	金額(円)	委託先		
未普及地区水質検査委託	98,868	(株)総合環境分析 静岡営業所		
計	98,868			

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
ウ 前山飲料水供給施設借地料	9,100円				
2 水道事業会計繰出金	22,136,000円				
(1) 統合前簡易水道公債費繰出金分	1,042,000円				
(2) 社会資本整備総合交付金事業費補助金分	19,208,000円				
(3) 児童手当等繰出金分	1,886,000円				
3 大井川広域水道企業団出資金					
(1) 大井川広域水道企業団出資金	5,289,000円	(財源内訳)			
		市債	5,200,000円		
		一般財源	89,000円		
4 大井上水道企業団負担金【平成22年度新規事業】					
(1) 児童手当等負担金分	410,000円				
10目 病院費	決算額	987,495,028円			
1 病院事業会計繰出金					
(1) 病院運営分	861,172,250円				
(2) 看護専門学校運営分	116,659,628円				
2 病院事業会計繰出金(繰越明許)					
(1) 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業繰出金	9,663,150円				
11目 新病院建設基金費	決算額	1,809,532円			
1 新病院建設基金積立金					
(1) 新病院建設基金利子積立金	1,809,532円				
2項 清掃費	決算額	1,512,002,818円			
2目 塵芥処理費	決算額	276,016,318円			
1 ごみ減量事業	<p>収集業務の一部を民間委託し、経費削減を図り、リサイクル可能なごみは適正に処理した。</p> <p>(1) 収集業務委託状況</p>				
	事業名	事業概要	事業費	委託先	
			年度	金額(円)	
	資源類収集運搬業務(島田地区)	資源の収集運搬、コンテナ集配、資源回収ネット配布	22	45,150,000	静岡県大井川地区自動車運送事業協同組合 (株)アスク長谷川
			21	45,675,000	
	古紙収集運搬業務(島田地区)	古紙類収集運搬	22	18,585,000	島田市古紙収集運搬業務共同体
			21	19,110,000	
	金谷地区収集運搬業務	一般廃棄物及び資源類の収集運搬	22	48,300,000	(有)鈴木清掃 県道島田金谷線南側
				50,925,000	(有)池原商会 県道島田金谷線北側
			21	49,770,000	(有)鈴木清掃 県道島田金谷線南側
				52,500,000	(有)池原商会 県道島田金谷線北側

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(2) 処理業務委託状況 ※()はkg単価

事業名	事業の概要	事業費		委託先
		年度	金額(円)	
資源類処理業務	資源の選別、梱包、異物除去、コンテナ洗浄等	22	24,213,000	牧ノ原やまばと学園
		21	24,663,000	牧ノ原やまばと学園
陶磁器及びガラス屑処理業務	自然砂の代用品への再生	22	7,359,198(22.0)	トーエイ(株)
		21	4,131,086(23.5)	ガラスリソーシング(株) 4月1日～9月30日
			3,589,278(22.0)	トーエイ(株) 10月1日～3月31日
粗大ごみ処理業務	燃えないごみ(鉄くず)の選別、処理等	22	10,248,000	桜井資源(株)
		21	10,920,000	桜井資源(株)

(3) 容器包装リサイクル状況

ア ペットボトル

年度	出荷量 (kg)	市負担率 (%)	再商品化費用(円)	再商品化業者
22	223,690	0	0	(株)エコリング
21	225,950	0	0	(株)エコリング

イ 白色トレイ

年度	出荷量 (kg)	市負担率 (%)	再商品化費用(円)	再商品化業者
22	19,515	3	31,174	(株)エフピコ
21	31,879	5	104,790	すばる産業(株)

ウ その他色びん

年度	出荷量 (kg)	市負担率 (%)	再商品化費用(円)	再商品化業者
22	131,580	13	162,497	丸硝(株)
21	125,680	13	150,317	丸硝(株)

エ 再商品化拠出金による収入

年度	前年度対象再商品化量 (kg)		拠出金(円)	委託先
	ペットボトル	白色トレイ		
22	225,950	31,879	7,142,291	(財)日本容器包装リサイクル協会
21	235,870	33,447	1,983,761	(財)日本容器包装リサイクル協会

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

(4) 収集実績

区分			収集量(t)	
			22年度	21年度
ごみ	燃えるごみ	市の収集	21,862	22,128
		一般持込	6,186	6,447
	燃えないごみ	市の収集	827	948
		一般持込	34	60
	計		28,909	29,583
資源	カレット		789	779
	古紙		2,145	2,383
	ペットボトル		224	226
	白色トレイ		20	32
	紙パック		33	34
	陶磁器ガラス屑		319	323
	乾電池		37	37
	蛍光灯		15	18
	食用油		6	6
	ペットボトルキャップ		2	0
	計		3,590	3,838

(5) 資源化促進事業

行政による資源化だけでなく、市民の自主的な資源化を推進した。

ア 古紙等資源集団回収奨励金

交付額 古紙及び牛乳パック 4円/kg、アルミ缶 5円/kg

年度	22	21	回収実績	年度	22	21
登録団体数	130	122		古紙(kg)	2,383,497	2,340,473
述べ実施団体数	699	654		牛乳パック(kg)	1,460	920
奨励金交付額(円)	9,929,458	9,734,610		アルミ缶(kg)	77,926	73,808
				計(kg)	2,462,883	2,415,201

イ ごみ減量資源化推進事業奨励金

交付額 新聞紙 2円/kg、ダンボール1.5円/kg、雑誌・雑紙 1円/kg

年度	資源化量(kg)	奨励金交付額(円)
22	2,156,912	3,448,374
21	2,374,234	3,806,564

款 項 目		主 要 事 業 の 説 明						
ウ 生ごみ処理容器等購入費補助金								
交付額 コンポスト・ボカシ購入費の1/2 (3,000円以内)、生ごみ処理機購入費の1/3 (30,000円以内)								
年度	生ごみ処理機		コンポスト		ボカシ		合計	
	台数	金額 (円)	台数	金額 (円)	台数	金額 (円)	台数	金額 (円)
22	30	714,600	3	7,800	0	0	33	722,400
21	38	838,400	13	30,500	0	0	51	868,900
3目 一般廃棄物最終処分場 運営費			決算額 43,051,666円					
1 処分場等管理運営事業								
(1) 一般廃棄物最終処分場では、一般搬入のがれき類、田代環境プラザ及びびクリーンセンターの処理灰の埋め立て処理を行った。								
また、処分場の延命を図るため、平成10年から平成14年8月までに埋立処理したホットバインドを掘り起こし田代環境プラザにて溶融減容処理している。								
水処理施設では、放流水の適正な水質管理を目的に機器の修繕等を実施した。								
ア ごみ埋立量実績 (単位：m ³)								
年度	がれき	処理灰	排出土砂	覆土	合計			
22	473	1,694	527	1,320	4,014			
21	729	1,803	745	1,440	4,717			
イ 掘り起こし実績 (単位：m ³)								
年度	掘り起こし量	残 (予定)						
22	2,222	14,260						
21	3,545	16,482						
※掘り起こし予定量は28,000m ³								
ウ 水処理施設の修繕 (単位：円)								
年度	修 繕 箇 所					金 額		
22	2号回転円板修繕					13,052,550		
	ろ過装置バタフライ弁取替					772,800		
	汚泥移送ポンプ取替					945,000		
	2号逆洗ポンプ取替					235,200		
	2号計量ポンプ取替					147,000		
	第1調整槽2号攪拌ポンプ取替					157,500		
21	1号回転円板修繕					7,329,000		
	2号円板減速機取替					399,000		
	2号円板チェーン取替					42,000		
	ろ過装置原水弁取替					168,000		
	ろ過装置ろ材交換修繕					315,000		

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
(2) 職員研修等	職員の施設維持管理に関する実務知識の向上と技能取得のため、講習会等に参加した。			
研修の種類	期間 (日)	回数 (回)	人数 (人)	実施場所等
廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会(廃棄物・資源循環研修会)	1	1	1	東京都
廃棄物処理施設技術管理者研修会	10	1	1	神奈川県川崎市、横浜市

4目 住宅団地汚水処理場費 決算額 19,754,323円

1 住宅団地汚水処理場管理運営事業

(1) 汚水処理場使用料納付状況

処理場名	年度	総件数 (戸)	6期 件数 (戸)	使用水量 (m ³)	使用料金		収入率 (%)
					調定額 (円)	収入額 (円)	
伊太第一	22	663	110	28,480	3,884,200	3,836,520	98.77
	21	668	112	29,776	3,994,820	3,915,010	98.00
伊太第二	22	242	41	8,579	1,526,540	1,327,734	86.98
	21	260	42	9,028	1,651,710	1,397,460	84.61
月 坂	22	2,679	448	127,993	16,300,950	16,165,040	99.17
	21	2,673	443	129,318	16,299,015	16,115,455	98.87
合 計	22	3,584	599	165,052	21,711,690	21,329,294	98.24
	21	3,601	597	168,122	21,945,545	21,427,925	97.64

※調定額・収入額は、過年度分を含む。

(2) 施設維持管理状況

処理場名	事業の概要	事業費(円)	備 考
伊太第一	維持管理業務委託 ・処理場の保守管理及び汚泥の調整・ 引抜作業業務	1,396,500	委託料 (株)エスイーシーディング
伊太第二	維持管理業務委託 ・処理場の保守管理及び汚泥の調整・ 引抜作業業務	724,500	委託料 (株)エスイーシーディング
月 坂	維持管理業務委託 ・処理場の保守管理及び汚泥の調整・ 引抜作業業務	3,026,520	委託料 (株)富永事業
	電気工作物保安管理業務委託 ・電気事業法による保安管理業務	156,240	委託料 (財)中部電気保安協会藤枝営業所
	汚水管渠調査業務委託 ・本管TV調査及び管渠内洗浄業務 L=2,810m	4,515,000	委託料 オリエント工業(株)静岡支店

(3) 処理水の水質

水質汚濁防止法に定められた排水基準値内で処理している。

計量対象及び 基準値 処理場名	PH	BOD	SS
	5.8~8.6	30mg以下	70mg以下
伊太第一	6.9	5.4	12.9
伊太第二	7.2	9.6	12.3
月 坂	6.3	1.4	2.8

※ 値は年度平均数値

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明		
5目 し尿処理費	決算額	199,795,820円	
1 クリーンセンター管理運営事業			
<p>クリーンセンターは、平成2年供用開始から21年目となり、施設及び機械の経年劣化がみられている。このため、定期的な保守点検のほか修繕工事等を実施した。</p> <p>し尿の1日当たりの投入量は、126.15kℓ/日、経費の節減と悪臭防止、排水基準の遵守に留意した運営に努め、1kℓ当たりの維持コストは、2,841円となっている。</p> <p>効率的な施設の維持管理に努めた結果、県内のし尿処理施設のなかでも低コストでし尿処理を行っている。</p>			
(1) 工事請負費			
	事業名	事業の概要	事業費(円) 備考
	PSA設備整備工事	空気圧縮機(A)、オゾン発生機、酸素製造機の整備一式	8,400,000 昭和環境システム(株)
	汚泥乾燥焼却設備補修工事	攪拌アーム6本及び汚泥乾燥機等の部品交換整備一式	8,085,000 (株)大川原製作所
	前処理機器点検整備工事	し尿系列、浄化槽系列のドラムスクリーン・スクレプレスの部品交換及びオーバーホール一式	7,875,000 協栄工業(株)
	汚泥脱水機整備工事(B号機)	フレーム及びプラケット類の交換及びオーバーホール一式	6,930,000 日本インカ(株)
	破碎機補修工事	破碎機3台オーバーホール一式	1,564,500 サンテック(株)
	合 計	5件	32,854,500
(2) 委託料			
	業務名	業務の概要	委託費(円) 備考
	臭気用活性炭交換委託	吸着塔内の活性炭交換作業	2,677,500 (株)東海フォレスト
	受入槽ほか清掃委託	受入槽を含む、9槽の清掃(年2回実施)	1,422,750 (株)城南メンテナンス
	ほか 12件	放流水分析委託ほか施設管理委託等	4,460,925 (株)静環検査センターほか
	合 計	14件	8,561,175
(3) し尿の投入状況			
投入量の前年対比			
区 分	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽汚泥(kℓ)
平成22年度	46,043.68	4,296.38	41,747.30
平成21年度	45,684.23	5,195.25	40,488.98
対 比	359.45	△898.87	1,258.32
(4) 排出ガスの測定結果 実施日 7月27日 受託者 (株)静環検査センター			
ア 排ガスの測定結果と基準値			
測定項目	単位	調査結果	排出基準
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m ³ _N	0.000062	10以下
ばいじん濃度	g/m ³ _N	0.23	0.25以下
窒素酸化物濃度	ppm	120	250以下
硫黄酸化物排出量	m ³ _N /h	2.5	12.01以下
塩化水素濃度	mg/m ³ _N	100未満	700以下

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

イ 焼却灰・集塵灰のダイオキシン類測定結果と基準値

検 体 名	単 位	調 査 結 果	判 定 基 準
焼 却 灰	ng-TEQ/g	0	3以下
集 塵 灰	ng-TEQ/g	0.0076	3以下

(5) 放流水分析結果

受託者 (株)静環検査センター

区 分	透視度 cm	PH	COD mg/l	BOD mg/l	SS mg/l	大腸菌 群数 個/cm ³	塩素 イオン mg/l
平 均 値	100以上	7.5	8.6	1.5	1未満	0	109
基 準 値	/	5.8~ 8.6	/	平均30以下 最大40以下	平均70以下 最大90以下	3,000個以下	/
設 定 値	/	6~8	20 mg/l 以下	10mg/l 以下	10mg/l 以下	2,000個以下	/

(6) 乾燥汚泥等の資源化の状況

区 分	最終処分場搬入量 (kg)	資 源 化		
		焼 却 灰 配布量(kg)	乾 燥 汚 泥 売 払 配布量(kg)	乾 燥 汚 泥 売払金額(円)
平成22年度	73,720	11,750	96,250	962,500
平成21年度	61,650	21,480	130,660	1,306,600
対 比	12,070	△9,730	△34,410	△344,100

- ・し尿汚泥肥料 (登録名称: コエール) 100円/10kgにて販売
- ・焼成汚泥肥料 (登録名称: サラーリ) 無料配布

2 川根地区広域施設組合運営費

一部事務組合として、島田市及び川根本町をもって組織し、し尿処理施設の設置及び管理運営に関する事務を共同で処理している。

川根地区広域施設組合「クリーンピュア川根」の運営費及び建設費償還金に係る負担金を支出した。

(1) 川根地区広域施設組合負担金

区 分	運 営 費 負 担 金	建 設 費 償 還 金 負 担 金	合 計
平成22年度	29,790,000	35,133,739	64,923,739
平成21年度	28,623,000	35,133,739	63,756,739
対 比	1,167,000	0	1,167,000

(2) 投入量の前年対比

区 分	島 田 市			川 根 本 町		
	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽(kℓ)	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽(kℓ)
平成22年度	2,578.11	594.15	1,983.96	4,429.31	678.32	3,750.99
平成21年度	2,592.09	575.36	2,016.73	4,317.52	722.67	3,594.85
対 比	△13.98	18.79	△32.77	111.79	△44.35	156.14
区 分	合 計					
	総投入量(kℓ)	生し尿(kℓ)	浄化槽(kℓ)			
平成22年度	7,007.42	1,272.47	5,734.95			
平成21年度	6,909.61	1,298.03	5,611.58			
対 比	97.81	△25.56	123.37			

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
6目 田代環境プラザ運営費	決算額 656,196,004円					
1 ガス化溶融施設管理運営事業						
(1) 施設（田代環境プラザ）視察、見学等の状況						
公共団体や小学生、中学生及び各種団体等の視察や見学を受け入れ、ごみ減量の啓発やごみ処理についての理解協力を図った。						
区 分	構成市町		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
官 公 庁	0	0	8	105	8	105
一 般	19	238	2	4	21	242
学校関係	20	1,012	0	0	20	1,012
合 計	39	1,250	10	109	49	1,359
前 年 度	46	1,342	10	89	56	1,431
(2) 職員研修等						
職員のごみ処理技術の向上及び作業の安全性の確保を図るため各種講習会等に参加した。また、同型のガス化溶融施設を有する自治体とのネットワーク会議に出席し、情報交換を行った。						
研 修 の 種 類		期 間 (日)	回 数 (回)	人 数 (人)	実施場所等	
廃棄物処理施設技術管理者講習会		4	1	1	大阪市	
電気主任技術者研修会		1	1	1	静岡市	
ボイラー・タービン主任技術者実務研修会		2	1	1	名古屋市	
DMSネットワーク研修会		2	1	1	豊川市	
エネルギー管理員新規講習会		1	1	1	名古屋市	
PCB特別一般廃棄物管理責任者研修会		1	1	1	静岡市	
(3) ごみ搬入実績						
島田市及び受託している川根本町の平成22年度における可燃性ごみの搬入実績は30,586トンとなり、平成21年度(31,688トン)より1,101トン(前年対比96.52%)減少している。内訳は、収集ごみが233トンの減(前年対比99.01%)、一般搬入ごみが238トンの減(前年対比96.33%)、掘起ごみが629トンの減(前年対比62.70%)、医療ごみが0.09トンの増(前年比100.35%)となった。						
また、平成21年度に発生した廃棄物処分手数料の未収金について、不納欠損処分を行った。						
ア ごみ搬入量						(単位：t)
種別	市町別	平成22年度	平成21年度	比較増減	前年対比 (%)	
収 集	島 田 市	21,861.66	22,127.70	△266.04	98.80	
	川 根 本 町	1,372.21	1,339.51	32.70	102.44	
	計	23,233.87	23,467.21	△233.34	99.01	

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明					
-------	---------------	--	--	--	--	--

一 般	官 公 庁	島 田 市	584.45	597.96	△13.51	97.74
		川 根 本 町	1.27	0.55	0.72	230.91
		計	585.72	598.51	△12.79	97.86
	家 庭 系	島 田 市	636.91	754.77	△117.86	84.38
		川 根 本 町	19.30	3.31	15.99	583.08
		計	656.21	758.08	△101.87	86.56
	事 業 系	島 田 市	4,938.61	5,068.63	△130.02	97.43
		川 根 本 町	88.02	82.03	5.99	107.30
		計	5,026.63	5,150.66	△124.03	97.59
	計	島 田 市	6,159.97	6,421.36	△261.39	95.93
		川 根 本 町	108.59	85.89	22.70	126.43
		計	6,268.56	6,507.25	△238.69	96.33
そ の 他	掘 起 ご み	島 田 市	1,058.44	1,688.03	△629.59	62.70
		川 根 本 町	-	-	-	-
		計	1,058.44	1,688.03	△629.59	62.70
	医 療 ご み	島 田 市	25.98	25.89	0.09	100.35
		川 根 本 町	-	-	-	-
		計	25.98	25.89	0.09	100.35
島 田 市		29,106.05	30,262.98	△1,156.93	96.18	
川 根 本 町		1,480.80	1,425.40	55.40	103.89	
合 計		3,0586.85	31,688.38	△1,010.53	96.52	

イ 不納欠損処分内訳

年度	区分	廃棄物処分手数料		不納欠損処分に係る関係法令該当条項
		件数	手数料 (円)	
過年度分	21	1	90,850	島田市債権管理条例第7条第1項第2号による債権放棄
計		1	90,850	

※債権の配当額458円については、少額のため郵便切手で受理した。

(4) 施設の稼働状況

ごみ搬入量が前年度比3.58%減となり、雨も少なかったため、ごみ処理量も大きく減となった。可燃性ごみはガス化熔融炉で安全に安定した処理を行った。無害化生成されるスラグやメタルは資源として売却し、また、集塵装置により捕集された飛灰は薬剤により有害物質を固定化して最終処分場に埋立て処理をした。

点検整備については、17年度の稼働から5年目となり、24時間運転による金属疲労や耐火物等の磨耗が目立ち始めてきており随所に部品交換や修繕が必要となった。

施設の管理運営については、運転委託業者との運転会議等を綿密に実施し、適正な施設管理に努めた。なお、燃料、薬剤等資材の使用量を減少させるための研究を前年度から引き続き行い、コークス使用量をはじめ、各種資材を削減することができた。

また、ごみ処理で発生した熱を利用して発電し、発電した電力は場内で利用するほか、余剰電力は電力会社に売却したが、ごみ処理量が減ったことによる2炉運転日数が減ったため、発電量は減となった。

款 項 目

主 要 事 業 の 説 明

ア 運転実績

		平成22年度	平成21年度	比較増減	前年対比 (%)	
稼動状況処理量	1号炉	運転日数 (日)	265	257	8	103.11
		ごみ処理量 (t)	17,701.82	16,849.58	852.24	105.06
		1日平均 (t)	66.80	65.56	1.24	101.89
	2号炉	運転日数 (日)	235	291	△56	80.76
		ごみ処理量 (t)	15,288.48	19,150.75	△1,217.21	79.83
		1日平均 (t)	65.06	65.81	△0.75	98.86
	計	運転日数 (日)	320	340	△20	94.12
		2炉運転日数 (日)	169	207	△38	81.64
		ごみ処理量 (t) A	32,990.30	36,000.33	△3,010.03	91.64
		1日平均 (t)	103.09	105.88	△2.79	97.36
	スラグ	排出量 ① (t)	1,995.58	2,128.68	△133.10	93.75
		排出割合 (①/A) (%)	6.05	5.91	0.14	102.37
メタル	排出量 ② (t)	346.16	384.18	△38.02	90.10	
	排出割合 (②/A) (%)	1.05	1.07	△0.02	98.13	
飛灰	排出量 ③ (t)	1,620.55	1,739.34	△118.79	93.17	
	排出割合 (③/A) (%)	4.91	4.83	0.08	101.66	

イ 主要薬剤等の使用実績

		平成22年度	平成21年度	
ごみ処理量 (t)		32,990.30	36,000.33	
燃 料	コークス	Kg	1,522,868	1,759,918
		Kg/ t	46.16	48.87
	灯油	リットル	175,393	196,856
		ℓ / t	5.32	5.47
薬 剤	石灰石	Kg	811,000	886,522
		Kg/ t	24.58	24.63
	高反応消石灰	Kg	187,395	228,245
		Kg/ t	5.68	6.34
	キレート剤	Kg	43,282	46,157
		Kg/ t	1.31	1.28

※ kg/ t : ごみ処理量1トン当たりの薬剤等の使用量

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

ウ 電力収支

	項目	電力量 (kwh)	構成比率 (%)
	(1) 受電電力	11,735,827	—
内 訳	購入電力	1,348,248	11.49
	発電電力	10,387,579	88.51
	(2) 使用電力	10,191,019	—
内 訳	ガス化溶融施設	10,065,229	98.77
	リサイクル施設	125,790	1.23
	(3) 余剰電力 (売電) (1)-(2)	1,544,808	—

(5) 主要委託業務の執行状況

事 業 名	事業の概要	事業費 (円)	受 託 者
田代環境プラザガス化溶融炉 運転管理業務	ガス化溶融施設の運転業務	178,500,000	日鉄環境プラントソ リューションズ(株)
田代環境プラザガス化溶融施 設点検整備業務	ガス化溶融施設の点検整備業務	160,084,050	日鉄環境プラントソ リューションズ(株)
田代環境プラザ分析業務	排ガス、飛灰、スラグ、騒音振動、臭 気等の分析業務	4,796,400	(株)静環検査センター
田代環境プラザ清掃業務委 託	管理棟の日常清掃及び定期清掃	2,310,000	(株)セリオ
田代環境プラザ精密機能検 査業務	廃棄物処理法に規定されている機 能保全のための精密機能検査	892,500	日本総研(株)
田代環境プラザ周辺地区(伊 太地区)大気環境調査業務	伊太地区の大気環境について環境 保全の参考資料とするための調査	787,500	日本総研(株)

(6) 維持管理に係る各種分析結果

ガス化溶融炉の運転については、大気汚染防止法やダイオキシン対策特別措置法等の基準値及び地元協定値を遵守している。(※2月実施の飛灰の溶出試験において「鉛又はその化合物の項目」が基準値を超えたため、基準値以下になる対策をしています。)

ア 排ガス

測定日	4/21	6/16	8/3	10/5	12/1	2/2	基準値 (地元協定値)
	測定炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	
ばいじん (g/m ³)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.004未満	0.005未満	0.02以下
硫黄酸化物 (ppm)	2	2未満	2未満	2未満	2	2未満	20以下
窒素酸化物 (ppm)	10	14	25	27	24	14	50以下
塩化水素量 (ppm)	17	14未満	15未満	14未満	12未満	14未満	40以下
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³)	—	0.00087	0.00014	—	0.000062	0.0000027	0.05以下

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明				
-------	---------------	--	--	--	--

イ 飛灰の溶出試験

試料採取月日	5月18日	8月3日	11月9日	2月8日	基準値 (法基準値)
カドミウム又はその化合物(mg/l)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.3以下
鉛又はその化合物 (mg/l)	0.02	0.06	0.01未満	0.63	0.3以下
セレン又はその化合物(mg/l)	0.01	0.01	0.01	0.01未満	0.3以下
六価クロム化合物 (mg/l)	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.13	1.5以下
砒素又はその化合物 (mg/l)	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.3以下
水銀又はその化合物 (mg/l)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005以下
フッ素 (mg/l)	2.1	10	0.78	0.59	—
ホウ素 (mg/l)	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	—

ウ 飛灰のダイオキシン類濃度

	測定炉	測定日	ダイオキシン類濃度	法基準値
飛 灰	共通	5月18日	0.78 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g

エ 騒音測定

項目	単位	測定日		基準値 (法基準値・地元協定値)
		8月6日	2月2日	
朝(6時~8時)	dB(A)	47	46	50
昼間(8時~18時)	dB(A)	55	45	55
夕(18時~22時)	dB(A)	46	46	50
夜間(22時~6時)	dB(A)	47	45	45

オ 振動測定

項目	単位	測定日		基準値 (法基準値・地元協定値)
		8月6日	2月2日	
昼間(8時~20時)	dB	30未満	30未満	65
夜間(20時~8時)	dB	30未満	30未満	55

カ 臭気測定

測定日	8月6日	2月2日	基準値	
			法基準値	地元協定値
天候・風向風速	曇り・南東・0.5m/s	晴れ・無風	法基準値	地元協定値
アンモニア (ppm)	0.1未満	0.1未満	2以下	1以下
硫化水素 (ppm)	0.002未満	0.002未満	0.02以下	0.01以下

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明			
-------	---------------	--	--	--

メチルカブタン (ppm)	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下	0.001以下
硫化メチル (ppm)	0.001未満	0.001未満	0.01以下	0.005以下
臭気指数	10未満	10未満	15以下	

キ ごみ質分析結果

採取日	生ごみの三成分			低 位 発熱量 kJ/kg	乾 燥 ご み 中 の 組 成 割 合					
	水 分 %	可燃分 %	灰 分 %		紙・布類 %	ビニール類 %	木・竹・ワ類 %	厨芥類 %	不燃物類 %	その他 %
5/18	51.4	39.8	8.8	7,730	35.1	21.4	16.1	18.9	4.6	3.9
8/3	47.9	34.6	17.5	5,910	28.3	20.1	16.8	10.1	12.2	12.5
11/9	40.1	53.8	6.1	9,440	42.0	34.3	8.0	12.5	1.6	1.6
2/8	40.6	40.4	19.0	6,380	36.9	19.2	8.6	9.7	12.5	13.1

ク スラグの溶出試験・含有試験

溶融スラグの溶出試験及び含有試験をそれぞれ毎月1回行っている。どちらも毎回、国基準値及び溶融スラグ有効利用ガイドライン基準値をクリアしている。

(ア) 溶出試験

	カドミウム又は その化合物 (mg/l)	鉛又は その化合物 (mg/l)	セレン又は その化合物 (mg/l)	六価クロム 化合物 (mg/l)	砒素又は その化合物 (mg/l)	水銀又は その化合物 (mg/l)	フッ素 (mg/l)	ホウ素 (mg/l)
国基準値・ ガイドライン	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	0.0005以下	0.8以下	1以下
測定値	0.001未満	0.005未満 ~0.006	0.002未満	0.02未満	0.005未満	0.0005未満	0.08未満	0.1未満

(イ) 含有試験

	カドミウム又は その化合物 (mg/kg)	鉛又は その化合物 (mg/kg)	セレン又は その化合物 (mg/kg)	六価クロム 化合物 (mg/kg)	砒素又は その化合物 (mg/kg)	水銀又は その化合物 (mg/kg)	フッ素 (mg/kg)	ホウ素 (mg/kg)
法基準値・ ガイドライン	150以下	150以下	150以下	250以下	150以下	15以下	4,000以下	4,000以下
測定値	10未満	15未満	10未満	10未満	10未満	1未満	400未満 ~860	400未満

2 リサイクル施設運営事業

(1) 剪定枝

ア 受入・処理状況

	家庭系		事業系		官公庁		合計	
	件数(件)	量(t)	件数(件)	量(t)	件数(件)	量(t)	件数(件)	量(t)
平成22年度	131	12.98	208	40.99	56	11.25	395	65.22
平成21年度	64	6.37	403	88.09	64	8.31	531	102.77

款 項 目	主 要 事 業 の 説 明
-------	---------------

イ 資源化・売払状況 (単位：トン)

	資源化	売払
平成22年度	62.92	60.72
平成21年度	113.64	111.02

(2) 食品残渣

ア 受入・処理状況

	食品残渣受入量			食品残渣の割合 (%)			
	受 入 事業所数	延べ 受入件数	受入量 (t)	野菜・ 果物くず	残飯類	期限切れ 食 品	合 計
平成22年度	8	1,243	153.9	68.96	5.94	25.10	100.0
平成21年度	7	1,092	145.1	64.01	9.93	26.07	100.0

イ 資源化・売払状況 (単位：トン)

	資源化	売払
平成22年度	22.89	20.13
平成21年度	16.87	16.57

3 使用済乾電池・蛍光灯資源化事業

区 分	乾電池		蛍光灯	
ルート	独自ルート		全国都市清掃会議ルート	
処理委託契約先	処理	東邦亜鉛株 (群馬県安中市)	処理	野村興産株 (北海道北見市)
			運搬	日本通運株 日本貨物鉄道株
	運搬	安中運輸株 (群馬県安中市)	事務	(社)全国都市清掃会議
処理実績 (出荷量)	平成22年度	39,370kg		16,160kg
	平成21年度	39,704kg		19,050kg